

八丈方言談話資料 2 中之郷方言

金 田 章 宏

はじめに

八丈方言は、日本語諸方言のなかで、文法上きわめて特殊な位置をしめている。

語形の面では、奈良時代の東国方言の特徴である、動詞のオ連体形、形容詞のケ連体形、推量のナモなどのほか、形容詞語幹のはばひろい用法がみられる。また、打消しのズ以前にさかのぼる否定形式が、中之郷をふくむ坂上地区などではいまでも使用されている。

構文の面では、疑問と強調の係り結びをのこし、連用形にいくつかの終止用法も見られるし、「箒に結う」のような結果のむすびつきが多用されるなど、連語論の点でも古風な側面を数多くのこしている。

中之郷方言は、八丈島旧5ヵ村のひとつとして、青ヶ島方言とともに八丈方言のなかに位置付けられる。八丈方言は、坂下とよばれる旧2ヵ村（大賀郷・三根）がひとつのまとまりをつくり、坂上の旧3ヵ村は中之郷・檜立地区と末吉地区とにわけられる。これに青ヶ島（村。青ヶ島方言）をくわえて、八丈方言を4地区に下位区分する。1)～3)という順序は、大坂トンネルが開通する以前のルートにそったもので、方言的な特徴も概略この順序でましていくとみてよい。発音に関していえば、大賀郷が最も中央語の影響を受けているのに対して、檜立が独特の発声法や二重母音など、きわだった特徴をもっている、というように。

- 1) 大賀郷・三根地区
- 2) 末吉地区
- 3) 中之郷・檜立地区
- 4) 青ヶ島地区

文法の面では、各地区ともわずかな違いがあるとはいえ、青ヶ島地区をのぞけば、それほどおおきな差はみられない。しかし、音声の面ではかなりの違いがみられ、それが各地区の方言の基本的な違いとして意識されている。なかでも特徴的なのは、おもにさまざまな母音の連続が融合してできた長い母音（長母音と二重母音）のあらわれ方と、一部の子音の口蓋化のありなしである（概略は金田1993aを参照）。

この資料について

録音：上村幸雄 1970.3.12.

話者：沖山べん（1880-1972）（略称：べん）、菊池なぎよし（1880-1974）（略称：なぎ）

沖山しず子（1901-1994）（略称：しず子）、山下文司（1926-）（略称：文司）

この資料は、1970年に当時国立国語研究所の地方言語研究室長だった上村幸雄氏が中之郷地区で録音したものを、上村氏の許可をえて、金田が文字化し訳と注を付したものである。

る。このときの録音の一部は、大石・上村編1975『方言と標準語』に収録されているが、今回の資料はそれとは別の話者によるものである。ここに掲載したものは、録音全体の約二分の一であるが、のこり二分の一も、おなじころのほかの地区の録音とともに、文字化を予定している。

話者のうち、沖山べん氏と沖山しず子氏は親子である。山下文司氏は進行役のような役割をはたしている。会話の中心は菊池なぎよし氏と沖山べん氏で、沖山べん氏の声は特徴的なのでききわけに問題はないが、菊池なぎよし氏の声は山下しず子氏の声と似ているため、一部のみじかい発話については混同している可能性がある。また、30年ちかくも以前の録音であり、すでに3名の方がなくなっていて、単語の意味や語形について、明確にできなかったところもある。

文法上の特徴としては、はじめにあげた諸特徴のうち、形容詞語幹の用法と連用形の終止用法以外はすべてこの資料にあらわれている。また、現在では強調の係り結び助辞の、三根におけるカとコーの区別が中之郷ではうしなわれ、どちらもカになっているが、この資料では、一部をのぞいて、カとコアとして明確に区別されている。

表記は特殊な文字や記号を使用しなかったため、上述の上村1975ですでに指摘されている、母音の長短における、「はり」と「ゆるみ」の対立をじゅうぶんに表示できなかった。中之郷の長い母音には、いつつの長母音、/i:/、/e:/、/a:/、/o:/、/u:/、および、ふたつの二重母音、/ia/、/oa/がある。このうち、/e:/は、音声的にはほとんど/i:/と区別がつかないばあいがある。また、/o:/も、ほとんど/u:/と区別がつかないばあいがある。これが、上村1975のいう、短母音/e/、/o/の「ゆるみ」と、長母音/e:/、/o:/の「はり」の対立である。しかし、口蓋化の対立をもつ子音とくみあわさったばあい、これらの長母音は基本的には口蓋化しない子音とくみあわさり（[ti:] / te: / 手を、[tu:] / to: / 戸を）、口蓋化した子音とくみあわさる /i:/、/u:/とは（[matʃi:] / maci: / 町へ、[kutsu:] / kucu: / 靴を）区別されている。母音自体も、とくに/o:/のばあい、口の構えに特徴がある。したがって、音韻としては、きこえの如何にかかわらず、/e:/、/o:/をたてる必要がある。ただし、この資料での表記は、きこえ方にしただったため、ほかの/ia/なども、ea、ja:のように表記している。

以下、おもな地区について長い母音と中央語との対応関係をしるす（具体例は金田1993aを参照）。

三根	末吉	中之郷	中央語
i:	i:	i:	< i、ii、ui、uwi、usi
ei	i:	e:	< ie、ei、ee、ewo、emo、oi、ohi、osi、oe、ohe
a:	a:	a:	< ara
ou	o:	o:	< ou、owo、awo、amo、owo、oho
u:	u:	u:	< uho、uwo、usu
e:	e:	ia	< ai、awe、ame、are、aju
o:	a:	oa	< aa、awa、ao、awo、aro、oa、oha、owa

なお、母音の無声化の記号も付していないが、中之郷は櫛立とはちがって、標準語とほぼおなじ規則にしたがって無声化をおこなっている。

上記のとおり、この録音の数年後には、あいついでお二人の話者がなくなっており、その意味でもこの録音はたいへん貴重な記録となっている。当時のテープを大切に保存し、こころよく貸して下さった八丈町の浅沼良次氏、文字化および活字化を快諾して下さった上村幸雄先生に心よりお礼をもうしあげる。また、文字化にあたって、八丈町の山下文司氏、奥山熊雄氏ほかの協力をえた。

なお、この資料もふくめて、金田がこれまでに文字化した青ヶ島方言や、今後文字化を予定しているほかの地区の資料については来年度中にCD化を予定している。

八丈方言の音韻、文法、談話資料等に関しては、以下のものを参照していただきたい。

飯豊毅一1959 「八丈島方言の語法」『国立国語研究所論集 1 ことばの研究』

馬瀬良雄1961 「八丈島方言の音韻分析」『国語学』43

奥山熊雄・金田1990 「八丈島三根方言動詞の形態論 アスペクトをめぐる」『国文学解釈と鑑賞』7月号

奥山熊雄・金田1991 「八丈島三根方言動詞の形態論 過去の「き」をもつテンス形式」『国文学解釈と鑑賞』1月号

金田章宏1992 「八丈島の民話と談話」『国文学解釈と鑑賞』7月号

金田章宏1993a 「八丈島方言の音韻（三根地区）」『千葉大学留学生センター雑誌』

金田章宏1993b 「「二重」表示現象をめぐるー八丈島三根方言を例にー」『日本語の格をめぐる』くろしお出版

金田章宏1995 「保科孝一著「八丈島方言」をよみなおす(1)」『千葉大学留学生センター紀要』第1号

金田章宏1996a 「感覚と感情における局面をめぐる」『国文学解釈と鑑賞』1月号

金田章宏1996b 「連用形の終止用法をめぐる」『千葉大学留学生センター紀要』第2号

金田章宏1996c 「八丈方言うちけし動詞の成立をめぐる」『日本語文法の諸問題』ひつじ書房

金田章宏1998a 「待遇表現とやりもらいについてのおぼえがき」『国文学解釈と鑑賞』1月号

金田章宏1998b 『八丈方言談話資料1 青ヶ島方言』千葉大学留学生センター

金田章宏1998c 「現代日本語のなかの係り結び」『月刊言語』7月号

金田章宏1999 「八丈方言から古代語をさぐる」『日本語学』1月号

- なぎ : anjo kamara:rute:(1).
- アニョ カマラールテ。
- べん : neqkoke toki? neqkoke tokinja no:, imoni, sacumani, siodakiN site, soikara, siruniwa, imosiru, sacumasiruteqte no, he:kara mugizju:si:teqte, mugjo cuqte, soikara, woagome:(2) cuqte, woamesiteqte.
- ネッコケ トキ? ネッコケ トキニャ ノー、イモニ、サツマニ、シオダキン シテ、ソイカラ、シルニワ、イモシル、サツマシルテッテ ノ、ヘーカラ ムギジューシーテッテ、ムギョ ツッテ、ソイカラ、ヲアゴメー ツッテ、ヲアメシテッテ。
- なぎ : wora(3) sono, woagome:wa noa, neqkokute (4) sjokunaqkedara.woagome:wa tabenakoNte.
- ワラ ソノ、ヲアゴメーワ ノア、ネッコクテ ショクナッケダラ。ヲアゴメーワ タベンナコンテ。
- べん : woagomeNsja:jowa(5) no.
- ヲアゴメンシャーヨワ ノ。
- しず子 : curucuruN site, woagomewa umakezja. kamuteka jodaNnea(6), sogaNdo: kotowa. muka:sino kotobadeka jodare(7). N:gateka jodaNne:. omaeteNsja: jazuni.
- ツルツルン シテ、ヲアゴメワ ウマケジャ。カムテカ ヨダンネア、ソガンドー コトワ。ムカーシノ コトバデカ ヨダレ。ソーガテカ ヨダンネー。オマエテンシャー ヤズニ。
- なぎ : N:ga noa, taNgo: oru:ti:(8), taNgo: oqtaru:(9), zibatade cjaNcjaN, noa, zibatade. oru:te:, jamja:(10) detaroazja(11). una(12) kode, ara kokode, sobade, iqkeNdonaride, soNtokiN, deroga:ni(13), toNmeteni(14) dete, hajaku kiqte(15), taNgo: orogaN hai-ku derogaNteqte asa okite, tokite(16) cucu detaroazja, jamja. sokono otonaride, sogaNsite ….
- ソーガ ノア、タンゴー オルーティー、タンゴー オッター、ジバタデ チャンチャン、ノア、ジバタデ。オルーテ、ヤミャー デタロアジャ。ウナ ココデ、アラ ココデ、ソバデ、イッケンドナリデ、ソントキン、デロガーニ、トンメテニ デテ、ハヤク キッテ、タンゴー オロガン ハイク デロガンテッテ アサ オキテ、トキテ ツツ デタロアジャ、ヤミャ。ソコノ オトナリデ、ソガンシテ・・・。
- しず子 : toNmeteN okiteteka jarega. toNmeteN okite.
- トンメテン オキテテカ ヤレガ。トンメテン オキテ。
- なぎ : toNmeteN okite sa, juru, asa kurake ucini.
- トンメテン オキテ サ、ユル、アサ クラケ ウチニ。
- しず子 : maqkurudoa(17) ucini.
- マックルドア ウチニ。
- なぎ : dete, soikara sacumoa sjoqte kite, orosite, hekara, nabeno harja: irete, siode nirogoaN oqtoqti:, taNgo: oraroazja, zibatade.
- デテ、ソイカラ サツモア ショッテ キテ、オロシテ、ヘカラ、ナベノ ハリャー イレテ、シオデ ニロガン オットッティー、タンゴー オラロアジャ、ジバタデ。
- べん : mukasiwa zibatade taNgo: oroazja.
- ムカシワ ジバタデ タンゴー オロアジャ。
- なぎ : sogaNdoaNte, uno, sono, taNgo: oqtewa, hekara, taNgowa orinagarani, kodomo: oNbusite, kogaNsite sjoqte kogaNsite sita ….
- ソガンドアンテ、ウノ、ソノ、タンゴー オッテワ、ヘカラ、タンゴワ オリナガラニ、コドモ オンブシテ、コガンシテ ショッテ コガンシテ シタ・・・。
- べん : N:gawa(18), kodomo aroaga, warja sjezu (19), kodomo ….
- ソーガワ、コドモノ アロアガ、ワリャ シェズ、コドモ・・・。
- なぎ : omaia naqkeNte sjoinakoN(20), ara sjoqtoqti:, sjoqtoqti: taNgo: oroazja.
- オマイア ナッケンテ ショイナコン、アラ ショットッティー、ショットッティー タンゴー オロアジャ。
- しず子 : gomjo sasagi: mikoadoazja:.
- ゴミョ ササギー ミコアドアジャー。

なにを食べたかって。

小さいとき？ 小さいときにはね、サトイモに、サツマイモに、塩ゆでにして、それから、汁には、サトイモ汁、サツマイモ汁といってね、それからムギ雑炊といって、ムギをついて、それから、粟米をついて、粟飯といって。

私はその、粟米をはね、小さくて知らないんだよ。粟米をは食べないから。

粟米なんかをはね。

つつるに(と?)して、粟米はうまいよね。カムというんだよ、そういうことは。むかしのことばでいうんだよ。ソーガというんだよ。オマエってなんかいわずに。

おまえがね、タンゴを織りながら、タンゴを織ったろう、地機でちゃんちゃん、ね、地機で。織りながら、ヤマへ行ったじゃない。おまえはここで、わたしはここで、そばで、一軒隣で、そのときに行くように、あの、朝早く行って、はやく来て、タンゴを織るようにはやく行とって、朝起きて、さそってよく行ったじゃない、ヤマへ。そこのお隣で、そんなふうにして・・・。

朝早く起きて、といったんだよ。朝早く起きて。

朝早く起きてね、夜、朝くらいうちに。

真っ暗なうちに。

行って、それからサツマイモを背負ってきて、おろして、それから、ナベの中へいれて、塩でゆでるように置いてから、タンゴを織ったじゃない、地機で。

むかしは地機でタンゴを織ったよね。

そんなだから、あの、その、タンゴを織っては、それから、タンゴは織りながら、子どもをおんぶして、こんなふうにして背負って、こんなふうにしてした・・・。

おまえのは、子どもがいたが、私はしないし、子ども・・・。

おまえはいないから背負わないけど、私は背負って、背負ってタンゴを織ったんだよ。

薪を(頭にのせて)運びに歩いたもんじゃない。

(1) kamara:ru <kami-ari-aru 引用形式のまえは旧終止形。

(2) woa <awa 語中では、awa> oaだが、語頭では唇音化されている。ほかに、owoke> bo: ke大キナ

(3) wara <warja <ware-wa

(4) sjoku 知ッテイルはsjokjaで、siroku著クから。

(5) woagomeNsja:jowa sja:は複数をあらわす接辞として意識されているが、もともとはサエで、ナド・ナンカほどの意味であり、複数でなくても使用される。

(6) kamuteka jodaNnea コソによる係り結び。三根のカ～e、ko:～ne:のうち、後者のナリ已然形型に対応するが、より若い人のなかでは、koa> ka となつて、係り助辞のほうでは区別がつかなくなっている。

(7) kotobadeka jodare これは三根のカ～eに対応し、述語は非ナリ已然形型。

(8) oru:ti: ～シナガラの古形。三つ根でoroutei。oro-mote-wo に対応するか。

(9) oqtaru: <oqtarou

(10) jamja: <jamae

(11) detaroa <detararo

(12) una <unuwa

(13) deroga:ni <dero-goto-niか。

(14) toNmete <qtomete <cutomete 同様の現象が、taggo <qtago <hutago双子、kaNngo <Nkago <mukagoムカゴ にみられる。

(15) kiqte kiteとなるべきところか。

(16) tokite 伽ぎて

(17) maqkurudoa <maqkurudaro <maqkurude-aro

(18) N:gawa kodomono aroaga 持ち主と持ち物による二重主格。

(19) sjezu これはsjazuシナクテ・シナイシか。

(20) sjoinakoN ～koは動詞型否定連体形。三根では融合してsjoiNno:niとなる。

なぎ	: gomjowa sjoqtari, sasaqdari.	ゴミョワ ショッター、ササッダリ。
べん	: mukasiwa miNna sjowoadoazja.	ムカシワ ミンナ ショヲアドアジャ。
なぎ	: sjasagara, kokode.	シャサガラ、ココデ。
しず子	: cuburiN sasagikoa sitaNnea.	ツ布林 ササギコァ シタンネァ。
べん	: kobuneowa(21) kosje:te noseqtoqte: sasaqde, soikara, mizu:wa no:, dokosokonogara (22) ... sono judokara kuqde, miNna sasaqde, sogoaN sitoa ...	コブネオワ コシエーテ ノセツトッテ ササッデ、ソイカラ、ミズーワ ノー、ドコソコノガラ ... 。ソノ ユドカラ クッデ、ミンナ ササッデ、ソゴァン シトア・・・。
なぎ	: naqketowa nagarekowamade detoazja.	ナケットワ ナガレコワマデ デトアジャ。
べん	: naqketowa kowakara sasaqde.	ナケットワ コワカラ ササッデ。
なぎ	: nagarekowamade.	ナガレコワマデ。
べん	: soikara kowadewa no:, maruboa sito: zjeqtai watasiNzjaroazja, adaN no:.	ソイカラ コワデワ ノー、マルボア シトー ジェッタ イ ワタシンジャロアジャ、アダン ノー。
なぎ	: si:side maru, sjomade maruputo, jamasjaNkoa(23) moqte dekitaNne: uno koano wi: (24) watasutowa.	シーシデ マル、ショマデ マルプト、ヤマシャンコア モッテ デキタンネー。ウノ、コアノ ウィーワタストワ。
しず子	: nomimizudoade?	ノミミズドアデ?
なぎ	: oso(25), komeN jero tabarja: derodoade.	オソ コメン イェロ タバリャー デロドアデ。
べん	: urega jomeNsja:jowa, ... nakaqcjosjaN sjoqte dete, nakaqcjokara kogoa:ni guru mawaqte kite, kokoN, niagarino uno koqci-no uki:...	ウレガ ヨメンジャーヨワ、・・・ ナカッチョシャ ン ショッテ デテ、ナカッチョカラ コゴァーニ グル マワッテ キテ、ココン、ニアガリノ ウ ノ コッチノ ウキー・・・。
なぎ	: waga obasaNdoazja sore:.	ワガ オバサンドアジャ ソレー。
べん	: mukasiwa nomimizudoajoNte(26) no:.	ムカシワ ノミミズドアヨンテ ノー。
べん	: soide mukasiwa mugjo cuki, woagome: cuki, he:kara kome: cuki, sinagarani, haru: (27) site, konasamoa(28) jasiNaqte, ...kara sono, ito: siqte, sogaNsite, sorede cumoqde taNgo: oroadoazja.	ソイデ ムカシワ ムギョ ツキ、ヲァゴメー ツ キ、ヘーカラ コメー ツキ、シナガラニ、ハル シテ、コナサモァ ヤシナッテ、・・・カラ ソノ、イトー シッテ、ソガンシテ、ソレデ ツモ ッテ タンゴー オロアドアジャ。
なぎ	: sono ito:koa neNguni osametaNnea.	ソノ イトーコア ネングニ オサメタンネァ。
べん	: taNgo: oqte iqtaN.	タンゴー オッテ イッタン。
なぎ	: maNno zeikiNni, neNgun osametoadoa:zja.	マンノ ゼイキンニ、ネングン オサメトアドア ジャ。
べん	: joke neno site saNjeNgozjuqseN. ka:, jasuketowa nijeNguriadaraNno: ...	ヨケ ネノ シテ サンイェンゴジュッセン。カー、 ヤスケットワ ニイェングリアダランノー・・・。
文司	: ... jamakara sjoqte sjoqte, kabea(29) sjoqte sjoqte, hidoke meN awaNno:zja.	・・・ヤマカラ ショッテ ショッテ、カベァ ショ ッテ ショッテ、ヒドケ メン アワンノージャ。

薪をは背負ったり、頭にのせたり。

むかしはみんな背負ったもんだよ。

頭にのせたよ、ここで。

頭にのせたんだよ。

コブネをは作ってのせてから頭にのせて、それから、水をはね、どこそこの分に……。その井戸から汲んで、みんな頭にのせて、そんなふうにした……。

(21) kobune 桶などを頭にのせるために使用する、布などで作ったドーナツ状のもの。

(22) gara ガリ・ノガリで、～ノ分ニ、～ノ分トシテ、～ノモトへなどの意味。

ないとナガレ川まで行ったじゃない。

ないと川から頭にのせて。

ナガレ川まで。

それから川ではね、死んだ人をぜったい渡さなかったよね、なにしろね。

末吉で死、潮間で死ぬと、ヤマのほうにもってきたよ。あの、カワの上を渡すと。

(23) jamasjaN sjaN は sima に由来する、方向をあらわす接辞。末吉では sima を使用する。

(24) wi: <wei <uwe wo

飲み水だから？

いや、そうじゃなくて、米にいれる(?) 田んぼに出るもんだから。

(25) oso 嘘の意味ではなく、相手の発言内容をはかるく否定する。

あの人の嫁なんかをは、……ナカッチョへ背負って行って、ナカッチョからこんなふうにごりまわってきて、ここに、ニアガリノあののこっちの……。

私のおばさんだよ、それ。

むかしは飲み水だからね。

(26) nomimizudoajoNte ~joNte はヨリテで、連体形+ニヨリテからの変化。現在ではjoが脱落している。

それで、むかしはムギをつき、粟米をつき、それから米をつき、しながら、養蚕をして、カイコを養って、……それからその、糸を引いて、そんなふうにして、それで紡いでタンゴを織ったんだよ。

(27) haru 養蚕を意味する。akiは麦作。

(28) konasama 蚕。蚕ノ様か。東北などではオコサマ（お蚕様）という。

その糸をこそ年貢に納めたんだよ。

タンゴを織って1反。

いまの税金に、年貢に納めたんだよ。

いい値になって3円50銭。それから、安いと2円ぐらいだったろう……。

……ヤマから背負って背負って、桑の葉を背負って背負って、たいへんな目にあったら。

(29) kabea 桑の葉。桑生エか。

- なぎ : kabiajowa cuburiN nosete sasagara. areNs-
ja:wa ko: oqtoqti:(30). カビアヨワ ツ布林 ノセテ ササガラ。アレン
シャーワ コー オットッティー。
- べん : kogaNdoa kagode, kogoani ho:cite(31) sjo-
wadoazja, miNna. doNna to:kukaramo. コガンドア カゴデ、コゴアニ ホーチテ ショヲ
アドアジャ、ミンナ。ドンナ トークカラモ。
- 文司 : kabea moginagara sa:, utoa iqpoN jari-
jare. カベァ モギナガラ サー、ウトア イッボン ヤ
リヤレ。
- べん : doNna to:kukaramo. ドンナ トークカラモ。
- 文司 : kabeajo moginagara:, harujamabusjo(32)
jare, sokode. カベアヨ モギナガラー、ハルヤマブショ ヤレ、
ソコデ。
- べん : harujamapusjo uto:doaka? ハルヤマブショ ウトードアカ?
- なぎ : utaqte miro. una uto:ho:do:(33)···, arja
uto:ho: nakja. ウタッテ ミロ。ウナ ウトーホードー···、ア
リヤ ウトーホー ナキャ。
- べん : uto:ka no:, soizja. haruni narutowa na ki-
nomeno hokoga(34) jo:i, matedo wasinoa-
zja(35) na omou samawa na:. ウトーカ ノー、ソイジャ。ハルニ ナルトワ ナ
キノメノ ホコガ ヨーイ、マテド ワシノアジャ
ナ オモウ サマワ ナー。
- しず子 : o:i, kono kanomino N:masoa(36), kono abi-
no N:masoate. オーイ、コノ カノミノ ンーマソア、コノ アビ
ノ ンーマソアテ。
- べん : hazimete kikoa ···。 ハジメテ キコァ····。
- なぎ : abjomo kanomjomo, moqde kamoazja, no:,
noa, jamoa miko:ti:(37). kabiajo mogu:ti:
sa:, abjo moqde kaqdari, kanomjo moqde
kaqdari, kodomonogara moqde moqte de-
kitari(38). アビョモ カノミョモ、モッデ カモアジャ ノー、
ノァ、ヤモア ミコーティー。カビアヨ モグーティー
サー、アビョ モッデ カッダリ、カノミョ モッ
デ カッダリ、コドモノガラ モッデ モッテ デ
キタリ。
- しず子 : mukasi, maNno kasino koaridaNno ···。 ムカシ、マンノ カシノ コアリダンノ····。
- なぎ : maNno kasino koarini, sori: moqte deki-
toadoaNte. uno, ho:kisibano haN kuruqde
moqte di:toazja, miNna. マンノ カシノ コアリニ、ソリー モッテ デキ
トアドアンテ。ウノ、ホーキシバノ ハン クルッ
デ モッテ ディートアジャ、ミンナ。
- 文司 : mukasiwa uredaraqti:zja(39), uno, aNte jo,
kono, kawja:sike sitoniwa, kodomonowa ho:
kisibaN komi: cucuqde nite(40) kamase-
taraqti:zja. ムカシワ ウレダラッティージャ、ウノ、アンテ
ヨ、コノ、カウチャーシケ シトニワ、コドモニワ
ホーキシバン コミー ツツッデ ニテ カマセタ
ラッティージャ。
- なぎ : ho:kisibade naqkja. kabja:no sibani. ホーキシバデ ナッキヤ。カビャーノ シバニ。
- べん : kasibaN kuruqde, kogoaN site, mugino
naqke: irete, nite, sogoaNsite kame:to:da-
rara(41). カシバン クルッデ、コゴァン シテ、ムギノ ナッ
ケー イレテ、ニテ、ソゴァンシテ カメートーダ
ララ。
- なぎ : adani, miNnade tabero kotoga dekinako-
doaNte, miNnagara naqkedoaNte, kodomo-
Nbaqkari kamasetoadoazja. アダニ、ミンナデ タベロ コトガ デキナコドア
ンテ、ミンナガラ ナックドアンテ、コドモンバッ
カリ カマセトアドアジャ。
- べん : buNnabeteqte, kogoNdo: nabenokode no:,
icigo:guria irete nite, sogoaNsite kuwase- ブンナベテッテ、コゴンドー ナベノコデ ノー、
イチゴグリア イレテ ニテ、ソゴァンシテ ク

桑の葉をは頭にのせてはこんだよ。私なんかは子どもを背負ったままで。

(30) oqtoqti: ~シタ状態デ。~テオク中止形か。継起関係をあらわすばあいもある。

こんな箆で、こんなふうに山のように積めるようにして背負ったんだよね。みんな。どんな遠くからも。

(31) ho:cite まわりをかこんでたくさん積めるようにする。封ジルか。

桑の葉をもぎながら、さあ、歌を1本、だしなさい。

どんな遠くからも。

桑の葉をもぎながら、春山節をやれ、そこで。

(32) harujamabusjo 春山節は桑つみ歌。声をかけあいながら歌った。

春山節を歌うのかい？

歌ってみろ。おまえは歌える・・・、私は歌えないよ。

(33) uto:ho:do: 肯定uto:ho:dara、否定uto:ho:naqkjaで、能力可能をあらわす。

歌うかな、それじゃ。春になると木の芽が芽吹くが、待っても来ませんねえ、思うあなたは。

(34) hokoga 芽吹ク。

(35) wasiNnoazja wasowaで、行ク、来ル、イル。オハスから。同等からすこし上に対して使用する。

まあ、この桑の実のうまいこと！ このイチゴのうまいこと！って。

(36) N:masoa 形容詞~サ+ヲ(ヨ?)による感嘆文。

はじめて聞いた・・・。

イチゴをも桑の実をも、もいで食べたよね、ね、ヤマを歩きながら。桑の葉をもぎながらね、イチゴをもいで食べたり、桑の実をもいで食べたり、子どもの分にもいでもってきたり。

(37) miko:ti: ~シナガラの古形。

(38) dekitari dekurowaで、来ル、デキル。イデクルから。

むかし、いまの菓子の代わりだろ・・・。

いまの菓子の代わりに、それをもってきたんだから。あの、ツワブキの葉にくるんでもってきたよね、みんな。

むかしはあれだったそうじゃない、あの、なんていう、この、かわいい人には、子どもには、ツワブキの葉に米をつつんでたいて食べさせたそうじゃない。

(39) uredaraqti:zja 伝聞形式は~ti:jaで、~teiwowa> ~te-jowaから。

(40) nite nirowaで、炊ク、煮ル、ユデル。

ツワブキの葉ではないよ。桑の葉の葉っぱに。

桑の葉にくるんで、こうして、ムギのなかにいれて、たいて、そうして食べさせたんだったよ。

(41) kame:to:darara <kamasetarodarara <kamasete-aronite-ari-arowa

なにしろ、みんなで食べることができないんだから、みんなの分ないんだから、子どもにばかり食べさせたんだよね。

別ナベといって、こんな小鍋でね、1合ぐらい入れて炊いて、そんなふうにして食わせた・・・。

toa ….

なぎ : sogaN sitoqti:, oNnagowa imosirudaka, sa-
cumasirudaka, mugizjo:si:dakowaka kamo-
wadarega.

嫁入りのしきたり

なぎ : mukasiwa jomeirjo noa, sjo tokinja, muka-
siwa, maniwa uga:ni diaciku(42) naqte jo-
meirjo sjoga, kono, miadari:(43) kakete,
zacu:doa hebiroa kite, sogaNnaqte tasukjo
kaqteka jomeirjo site detare. soikara no, o:
mukasiwa, waga ne:koke tokiniwa, taNsu
nagamocjo moqte, sogaNnaqte katoqde si-
toadoaga. harja, waga jomeirjo sjo zibuNn
i-wa, sono, taNsu nagamociwa nakaroazja
no. warja ogeNani:doNnogowa(44) mitoa
maNma, mitoa kotoN(45) nakarara. taNsu
nagamocjo katogowajo(46).

べん : aqci(47) noa, iqsohe:hacidonogara(48) na-
kaaNdo:(49) cuqte iko tokimo, taNsu naga-
mocide katogoadara.

なぎ : sorejori hokanja naqkedara, taNsu naga-
mociwa, hara. uno, daremo taNsu naguwa-
mocjo motodokoroka no:, tasukjo kaqte-
ka jomeirjo sitare. o:mukasiwa, he:kara,
hutoNno, mihabaputoNno tecugurja(50).
hutoNjomo moqtewa ikiwa sazu no.

しづ子 : daido, kaja:sike hitono arutowa, sono, ta-
Nsu nagamocjo katogiNnoaga, sono, oNna-
go: katoqde ikaraNno:zja(51).

なぎ : oNnago:wa no:, katoqde katoqde, nusuqde
nusuqde. waga eno kikueN:maNsja:wa ni-
kasoNkara nusumaretaqti:.

文司 : kikueba:saNjowa no:, waga eno ba:saNdo-
de, si:si:(52) jomeirjo sasetaraqti:zja. sog-
aNsuto, koqci, adani no:, ocisaNga arode,
nanuka kakarara:qteja, sono, kacuqde ku-
roni, baNjo site.

なぎ : baNjo si:si:.

文司 : sjoNbeNjo site aro tokoroika, hara, nanu,
iqsju:kaNmeka buqkacuqde kitaraqti: ….

なぎ : waga N:maNsja:jowa no, ikutabi katoqda-
kadaraqti:. kodomono arinagarani, waka-
retoqti:wa no: katoki, wakaretoqtia katoki,
saNkaikuria katogaraqti: ….

ワセトア・・・。

ソガン シトッティー、オンナゴワ イモシルダカ、
サツマシルダカ、ムギジョーシーダコワカ カモワ
ダレガ。

嫁入りのしきたり

ムカシワ ヨメイリョ ノア、ショ トキニャ、ム
カシワ、マニワ ウガーニ ディアチク ナッテ
ヨメイリョ ショガ、コノ、ミアダリー カケテ、
ザツードア ヘビロア キテ、ソガンナッテ タス
キョ カッテカ ヨメイリョ シテ デタレ。ソイ
カラ ノ、オームカシワ、ワガ ネーコケ トキニ
ワ、タンス ナガモチョ モッテ、ソガンナッテ
カトッデ シトアドアガ。ハリャ、ワガ ヨメイリョ
ショ ジブンニワ、ソノ、タンス ナガモチワ
ナカロアジャ ノ。ワリャ オゲンアニードンノゴ
ワ ミトア マンマ、ミトア コトン ナカララ。
タンス ナガモチョ カトゴワヨ。

アッチ ノア、イッソヘーハチードノガラ ナカア
ンドー ツッテ イコ トキモ、タンス ナガモチ
デ カトゴアダラ。

ソレヨリ ホカニャ ナッケダラ、タンス ナガモ
チワ、ハラ。ウノ、ダレモ タンス ナグワモチョ
モトドコロカ ノー、タスキョ カッテカ ヨメイ
リョ シタレ。オームカシワ、ヘーカラ、フトンノ、
ミハバプトンノ テツグリャ。フトンヨモ モッテ
ワ イキワ サズ ノ。

ダイド、カヤーシケ ヒトノ アルトワ、ソノ、タ
ンス ナガモチョ カトギンノアガ、ソノ、オンナ
ゴー カトッデ イカランノージャ。

オンナゴワ ノー、カトッデ カトッデ、ヌスッ
デ ヌスッデ。ワガ エノ キクエンーマンシャー
ワ ニカソソカラ ヌスマレタッティー。

キクエバーサンヨワ ノー、ワガ エノ バーサン
ド阿德、シーシー ヨメイリョ サセタラッティー
ジャ。ソガンスト、コッチ、アダニ ノー、オチサ
ンガ アロデ、ナヌカ カカララーッテヤ、ソノ、
カツッデ クロニ、バンヨ シテ。

バンヨ シーシー。

ジョンベンヨ シテ アロ トコロイカ、ハラ、ナ
ヌ、イッシューカンメカ ブッカツッデ キタラッ
ティー・・・。

ワガ ンーマンシャーヨワ ノ、イクタビ カトッ
ダダラッティー。コドモノ アリナガラニ、ワカ
レトッティーワ ノー カトキ、ワカレトッティア
カトキ、サンカイクリア カトガラッティー・・・。

そんなふうにして、女はサトイモ汁だか、サツマイモ汁だか、ムギ雑炊だかを食べたんだよ。

嫁入りのしきたり

むかしは嫁入りをね、するときには、むかしは、いまはあんなふうにきれいになって嫁入りをするけど、この、前掛けをかけて、粗末な着物を着て、そんなふうにして、たすきを掛けて嫁入りをして出たよ。それからね、おおむかしは、私が小さいときには、タンス、長持ちをもって、そんなふうにしてかついで嫁入りをしたんだけど。もう、私が嫁入りをする時分には、その、タンス、長持ちはなかったよね。私は、オゲン兄どののを見たっきり、見たことがなかったよ。タンス長持ちをかついだのを。

むかしね、****のところへナカねえさんをつれていくときも、タンス、長持ちでかついだんだよ。

それよりほかにはないんだよ。タンス長持ちは、もう。あの、だれもタンス、長持ちをもつどころかね、たすきを掛けただけで嫁入りをしたよ。おおむかしは、それから、布団の、身幅布団のひとつぐらい。布団をも持ってはいきはしないしね。

だけど、かわいい人がいると、その、タンス長持ちをかつがないが、その、女をかついでいったんじゃない。

女をはね、かついでかついで、盗んで盗んで。うちのキクエ母さんなんかは2ヵ村から盗まれたそうだよ。

キクエばあさんをはね、うちのばあさんで、末吉へ嫁入りをさせたそうだよ。そうすると、こっち、なにしろね、おじさんがいるので、七日かかったそうだよ、その、かついでくるのに、番をして。

番をしながら。

小便をしているところへ、もう、なな、一週間目か、かついできたそうだよ。

私の母さんなんかをはね、何回かついだかだそうだよ。子どもがありながら、別れてはまたかつぎ、別れてはかつぎ、3回くらいかついだそうだよ。

(42) diaciku diacikjaで、大事イから。

(43) miadari: <maedare-wo。マエダレ。

(44) ogeNani:doNnogowa <ogeNani:-dono-no-ga-wo。

(45) kotoN <kotonoで、ノ主格。

(46) katogowajo <katogarowo <katogi-arowo。

(47) aqci <arisi。キ過去形の連体形が感動詞化したもの。aqcitokiはアノトキ。

(48) iqsohe:hacidonogara 名前未詳。…平八殿か。

(49) nakaaNdo: <naka-ane-dono-woで、年上ノ次女ヲ。nakaは次女。njoko naka tego kusuとつづく。

(50) tecugurja ヒトツの語頭音の脱落。ほかに、toriヒトリ、tosdakuヒトサク(8尺)。

(51) ikaraNno:zja ~no:は推量ラムの東国方言形ナムの連体形。

(52) si:si: <si:sie <suejosi-e

- しず子 : kaigurano kakoamo(53) katogoa hitodaqti:
zja no, tarusamaga. カイグラノ カコアモ カトゴア ヒトダッティ
ジャ ノ、タルサマガ。
- なぎ : katogaroazja. ama...mo katogarara. soe-
kara uno, mada dari:mo katogoazja. カトガロアジャ。アマ・・・モ カトガララ。ソエ
カラ ウノ、マダ ダリーモ カトゴアジャ。
- しず子 : konogorodewa, orie, oriesaNjomo katogoa-
ni. コノゴロデワ、オリエ、オリエサンヨモ カトゴア
ニ。
- 文司 : o:zi:dara, kacugoa sitowa. kacuicisaNga
eno ojazigaramo kacugaraqte:. オージーダラ、カツゴア シトワ。カツイチサンガ
エノ オヤジガラモ カツガラッテ。
- しず子 : a:, tamaeobasaN. アー、タマエオバサン。
- 文司 : tamaeobasaNjomo. タマエオバサンヨモ。
- しず子 : kacugoadara. cuqte nigete no. カツゴアダラ。ツッテ ニゲテ ノ。
- なぎ : uno, ki:ciga eno oriemo. ウノ、キーチガ エノ オリエモ。
- しず子 : orie. オリエ。
- なぎ : orie:mo, orie:mo katogoani. オリエーモ、オリエーモ カトゴアニ。
- 文司 : sadaiciocisaNga. サダイチオチサンガ。
- なぎ : sadaiciga edemo katogoani. サダイチガ エデモ カトゴアニ。
- べん : (うた)mukasinazimito benegarazomewa jo:,
irowa sametemo kiwa nukenu joi. (うた) ムカシナジミト ベネガラゾメワ ヨー、
イロワ サメテモ キワ ヌケヌ ヨイ。
- しず子 : haha, mada irokega arigena:(54), kono, ba:
saNwa. ハハ、マダ イロケガ アリゲナー、コノ バーサ
ンワ。
- なぎ : mukasino simano sitowa, waga. ムカシノ シマノ シトワ、ワガ。
- べん : jamade mukasiwa no:, uno, harujamapusi-
baqkarikoa utoaNne: no:. ヤマデ ムカシワ ノー、ウノ、ハルヤマブシバ
カリコア ウトアンネー ノー。
- なぎ : utoaroni, hoikara, onokogowa sa, maNzi-
buN, usimi: jaqte, jamade usimeo o:kinaN
site moqti: cunocukjo cukasete, boNni, so-
gaNsite, iqto: nito:jo toroazja, mukasiwa.
sogaNdoaNte, otokomo oNnamo jamahata-
rakibaqkari jaroazja. ウトアロニ、ホイカラ、オノコゴワ サ、マンジブ
ン、ウシミー ヤッテ、ヤマデ ウシメオ オーキ
ナン シテ モッティー ツノツキョ ツカセテ、
ボンニ、ソガンシテ、イットー ニトーヨ トロア
ジャ、ムカシワ。ソガンドァンテ、オトコモ オン
ナモ ヤマハトラキバッカリ ヤロアジャ。
- (うた) (うた)
- なぎ : mukasiwa sa, kokono miciwa, made jaqto-
daqta:ru:. oqkanake, ukuno, hamazigasa-
kamo koguaN, jarejare iqtoqti:, koahuni
ore:taNne:ja(55), hamazigasakawa uno,
koqcino micide, koguaNsite, weNdoa(56),
konogurja:gurja:, micikara agete, hune:
ore:toazja. hoikara ano, kokono, kowaba-
tano weNdade cukuqte, hoika:, mukja:zato-
de cukuqtemo ore:toazja. hoikara no:, mi- ムカシワ サ、ココノ ミチワ、マデ ヤットダ
タールー。オッカナケ、ウクノ、ハマジガサカモ
コグァン、ヤレヤレ イットッティ、コアフニ
(コガンフニ) オレータンネーヤ、ハマジガサカ
ワ ウノ、コッチノ ミチデ、コグァンシテ、ウェ
ンドア、コノグリャーグリャー、ミチカラ アゲテ、
フネー オレートアジャ。ホイカラ アノ、ココノ、
コワバタノ ウェンダデ ツクッテ、ホイカー、ム
チャーザトデ ツクッテモ オレートアジャ。ホイ

カイグラのカコーもかついだ人だそうだよね、タルさまが。

(53) kakoa <kaka-woで、土族の家の母親(主婦)か。父はtoto: <toto-wo、兄はasi: <ase-woなど。

かついだよ。・・・もかついだよ。それからあの、まだだれをもかついだじゃない。

このごろでは、オリエ、オリエさんもかついだし。

大勢だよ、かついだ人は。カツイチさんの家のおやじのにもかついだそうだ。

ああ、タマエおばさん。

タマエおばさんをも。

かついだんだよ。つれてにげてね。

あの、キイチの家のオリエも。

オリエ。

オリエをも、オリエをもかついだし。

サダイチおじさんの。

サダイチの家でもかついだし。

(うた) むかしなじみと紅殻染めはヨー、色はさめても気は抜けぬヨイ。

はは、まだ色気があるようだ、このばあさんは。

(54) arigena: <arigenara <arigenarowa <arige-ni-arowa

むかしの島の人、私が。

ヤマでむかしはね、あの、春山節ばかり歌ったよね。

歌ったし、それから、男はね、いま時分、牛をつれていって、ヤマで牛を大きくして持って行って、角突きを突かせて、盆に、そんなふうにして、1等2等をとったじゃない、むかしは。そんなだから、男も女もヤマ仕事ばかりやったよね。

(うた)

むかしはね、ここの道は、(いいなおし)までやっとただだろう。たいへんな、あそこの、ハマジガサカもこんなふう、やっとで行って、こんなふうにしておろしたら、ハマジガサカはあの、こっちの道で、こんなふうにして、上を、このぐらい、道からあげて、船をおろしたじゃない。それからあの、ここの、川端の上でつくって、それから、向里でつくってもおろしたよね。それからね、道は、みんながもうお話しなさったろうけど、三根とか大賀郷へ行くには、あなた、わら

(55) ore:taNne:ja <orositaru-nare-ja。既定条件形で、未完了sune:ja・完了sitaNne:jaの対立をもつ。

(56) weNdoa <weNda-wo

ciwa, miNnaga hara hanasijarimo sitaNno:
ga, micuneda(57) o:kago:i jukoniwa, omja:,
warazo:rjo kuqde iciN... asu ikogarateqte-
wa, uno, oiano zjo:rjo kuqde ketoazja, wa-
razo:rjo. warazo:rjo kuqde keqto, sori:
iqsoku haqte iqte, humikiqte kitoazja. soi-
kara, kaNnoNsamja:teqte, dokuga... zju...
sicigacuno to:kanja, iqte, nisoku zo:rjo
moqte iqte, hoika, modorinagarani hara
humikiqte kitoazja. sogaN oqkanake miki-
daroazja, kono mikiwa.

しず子 : de, kuni: dero hitoNsja:jowa usimeN nosete,
beNto:jo moqte, sogaNnaqtekoa jaqde(58),
miNna, ikoadaNnea no:. sicizju:niNmo ha-
cizju:niNmo, zoro:zoro zoro:zoro, iciNciga-
karide iqte, sokode hju:roa(59) kaqde.

なぎ : uno, kaNnoNsamaNsja:i noburoniwa, huta-
cu zjo:rjo motazunjada, warazo:rjo. uno,
hutacu moqtekoa ikaNnea. soikara, huzisa-
mia ikonimo, nanacuN naromadeniwa, oto-
konokodoato, nanacuno tokini ohuzisamja:,
uno, ogaqde iqte, soikara siciniNni zo:rjo
kete, miNna, iroNna nomo: kete, cuqte ika-
sete ojuwaijo site.
(simakotobade ...)

しず子 : mimiga kiki:rutowa no, zjuNsuina simako-
tobade sowagodaredo:(60).

文司 : jomeirjo site sa, no:, omiga hatarakoa ha-
nasjo sijare.

べん : hatara ...

文司 : N:, kurusikaroya(61) hanasidano, rakudoa
hanasidano, uno.

べん : warja no:.

文司 : ozi:saNto.

しず子 : adaNnaqte hu:huN nararo:te(62).

べん : iqseNmo no:, naqke tokori: dete, e, koido-
doano jokodoa nizju:goeNde kaqte, soika-
ra, i:wa sju:toojano tatete kete, sono, ato:
wa no:, a, hutatokoro mitokoro: kaqte,
neNpukiNde, kasitatenon sitonogoa(63).

文司 : kaowa(64) tokia uresikaqtaro:?

べん : e:?

カラ ノー、ミチワ、ミンナガ ハラ ハナシヤリ
モ シタンノーガ、ミツネダ オーカゴーイ ユコ
ニワ、オミヤー、ワラゾーリョ クッデ イチン・・・
アス イコガラテッテワ、ウノ、オヤノ ジョー
リョ クッデ ケトアジャ、ワラゾーリョ。ワラゾー
リョ クッデ ケット、ソリー イッソク ハッテ
イッテ、フミキッテ キトアジャ。ソイカラ、カ
ンノンサミヤーテッテ、ドクガ・・・ジュ・・・シチガ
ツノ トーカニヤ、イッテ、ニソク ゴーリョ モッ
テ イッテ、ホイカ、モドリナガラニ ハラ フミ
キッテ キトアジャ。ソガン オッカナケ ミチダ
ロアジャ、コノ ミチワ。

デ、クニー デロ ヒトンシャーヨワ ウシメン
ノセテ、ベントーヨ モッテ、ソガンナッテコ
ヤッデ、ミンナ、イコアダネア ノー。シチジュ
ニンモ ハチジュニンモ、ゾロゾロ ゴロゾロト、
イチンチガカリデイッテ、ソコデ ヒューロア カッ
デ。

ウノ、カンノンサマンシャーイ ノブローニワ、フタ
ツ ジョーリョ モタズニヤダ、ワラゾーリョ。ウ
ノ、フタツ モッテコ イカンネア。ソイカラ、
フジサミア イコニモ、ナナツン ナロマデニワ、
オトコノコダト、ナナツノ トキニ オフジサミヤ、
ウノ、オガッデ イッテ、ソイカラ シチニンニ
ゾーリョ ケテ、ミンナ、イロンナ モノー ケテ、
ツッテ イカセテ オユワイヨ シテ。
(シマコトバデ・・・)

ミミガ キキールトワ ノ、ジュンスイナ シマコ
トバデ ソワゴダレド。

ヨメイリョ シテ サ、ノー、オミガ ハタラコ
ハナショ シヤレ。

ハタラ・・・。

ソー、クルシカロア ハナシダノ、ラクドア ハナ
シダノ、ウノ。

ワリヤ ノー。

オジーサント。

アダナッテ フーフン ナラローテ。

イッセンモ ノー、ナッケ トコリー デテ、エ、
コイドドアノ ヨコドア ニジューゴエンデ カッ
テ、ソイカラ、イーワ シュートオヤノ タテテ
ケテ、ソノ、アトワ ノー、ア、フタトコロ、ミ
トコロ カッテ、ネンブキンデ、カシタテノ シ
トノゴア。

カオワ トキア ウレシカッターロー?

エー?

草履を組んで・・・あす行く分とっては、あの、親の草履を組んでやったじゃない、わら草履を。わら草履を組んでやると、それを1足はいて行って、ふみきってきたじゃない。それから、観音様へといって、6月・・・7月の10日には、行って、2足草履をもって行って、それから、戻りながらもうふみきってきたじゃない。そんなにたいへんな道だったよね、この道は。

(57) micuneda -daは-niとともに並立の助辞。
-danoの短縮形か。

で、クニにいく人なんかをは牛にのせて、弁当を持って、そんなふうにして歩いて、みんな、いったんだよね。70人も、80人も、ぞろぞろぞろぞろと、一日がかりでいて、そこでお昼を食べて。

(58) jaqde <ajumite
(59) hju:roa 兵糧ヲから。

あの、観音様なんかへのぼるには、ふたつ草履を持たなくちゃだよ、わら草履を。あの、ふたつもっていったんだよ。それから、富士様へいくにも、七つになるまでには、男の子だと、七つの時にお富士様へ、あの、拝みにいて、それから7人に草履をやって、みんな、いろんなものをやって、つれていかせてお祝いをして。(島ことばで。)

耳が聞こえるとね、純粋な島ことばでわいわいやるんだけど。

(60) sowagodaredo: <sawago-ni-te-are-domo

嫁入りをしてね、ね、あんたがはたらいた話をしなさい。

はたら・・・。

ええ、苦しかった話だの、楽な話だの、あの。

(61) kurusikaroa <kurusikararo <kurusikuarari-aro

私はね。

おじいさんと。

どんなふうにして夫婦になったって。

(62) nararo:te <nari-ari-aro (te)

1銭もね、ないところへ行って、コイドアの横田を25円で買って、それから、家をは舅親が建ててくれて、その、あとをはね、2カ所、3カ所を買って、年賦金で、桧立の人のを。

(63) sitonogoa <sito-no-ga-woで、no=連体格助辞、ga=名詞化助辞、wo=対格助辞。

買ったときはうれしかったろう？

(64) kaowa <kawaro <kai-aro

え？

- 文司 : kaowa tokia uresikaqtaro:?
- カオワ トキァ ウレシカッタロー?
- べん : takazo:seNsi:goa no:, boroazowani, soikara ukuno, ani:te jo, tonosukuni.
- タカゾーセンシーゴア ノー、ボロアゾワニ、ソイカラ ウクノ、アニーテ ヨ、トノスクニ。
- しず子 : to:genosoani.
- トーゲノソアニ。
- べん : to:genosoaN mitokoro: kaqte, zju:neNno neNpukiNde. soikara zju:neNmeniwa, icine-Nka, kosakukiNjo marumaru muraqte, omaino kocukea si:teqte, sogoaNsite.
- トーゲノソァン ミトコロー カッテ、ジューネンノ ネンブキンデ。ソイカラ ジューネンメニワ、イチネンカ、コサクキンヨ マルマル ムラッテ、オマイノ コツケア シーテッテ、ソゴァンシテ。
- しず子 : sono siru:wa(65) adaNsite haroaroa?
- ソノ シルーワ アダンシテ ハロアロア?
- べん : he:?
- ヘー?
- しず子 : :siru:wa adaNsite haroaroa? taNgo: oqte, oriciNjo muraqtete.
- シルーワ アダンシテ ハロアロア? タンゴー オッテ、オリチンヨ ムラッテテ。
- べん : haru: site, soikara, sori: taNgoN site, sori: uqte, sori: moqte iqte haroarudoazja.
- ハルー シテ、ソイカラ、ソリー タンゴン シテ、ソリー ウッテ、ソリー モッテ イッテ ハロアルドアジャ。
- しず子 : iqtan goeNguriade?
- イッタン ゴエングリアデ?
- なぎ : goeNzja naqkja. saNeNguriadeka aNnea.
- ゴエンジャ ナッキャ。サンエングリアデカ アンネア。
- べん : soide mukasiwa no:, uno, uogateqte, buto-adoazja, miNna. buqte, he:kara, sori: wa-naN site, mekataN kakete, sogoaNsitekara, sono, mekataN kakezuniwa, ito:, uri: siN-zjarara(66). soikara ito: cumoqde, sogoaN-site, taNgoN site somejae iqte.
- ソイデ ムカシワ ノー、ウノ、ウオガテッテ、ブトアドアジャ、ミンナ。ブッテ、ヘーカラ、ソリー ワナン シテ、メカタン カケテ、ソゴァンシテカラ、ソノ、メカタン カケズニワ、イトー、ウリー シンジャララ。ソイカラ イトー ツモッデ、ソゴァンシテ、タンゴン シテ ソメヤエ イッテ。
- なぎ : mukasiwa konasamoa jasino:towa, itoN siqte, icibaN saki: neNgu: hiqtoqti:, soikara sono atowa, siqte cumuqde.
- ムカシワ コナサモァ ヤシノートワ、イトン シッテ、イチバン サキー ネンゲー ヒットッティー、ソイカラ ソノ アトワ、シッテ ツムッデ。
- べん : sono, o:mukasiwa no, neNguno nukuteqte, zjo:hirateqte, zjo:hirano jadono aqte, soikara sokoi, itono ikumoNme, soikara, sorega, ito: ikumoNme ….
- ソノ、オームカシワ ノ、ネングノ ヌクテッテ、ジョーヒラテッテ、ジョーヒラノ ヤドノ アッテ、ソイカラ ソコイ、イドノ イクモンメ、ソイカラ、ソレガ、イトー イクモンメ……。
- なぎ : iqsjakugara saNmoNmedara:.
- イッシャクガラ サンモンメダラー。
- べん : ikumoNmede ikusjakugarateqte no:, sogoaNsite.
- イクモンメデ イクシャクガラテッテ ノー、ソゴァンシテ。
- なぎ : waga orara, sore.
- ワガ オララ、ソレ。
- べん : soreni wara sono, meajo no, hineqte, sogaNsite josete, sitaru:, sori: ….
- ソレニ ワラ ソノ、メアヨ ノ、ヒネッテ、ソガンシテ ヨセテ、シタルー、ソリー……。
- なぎ : iqsjakugara saNmoNme ….
- イッシャクガラ サンモンメ……。
- しず子 : zja, maNno ze:kiNno.
- ジャ、マンノ ゼーキンノ。

買ったときはうれしかったろう？

タカゾウ先生のをね、洞輪沢に、それからあそのの、
なんていう、トノスクに。

峠の沢に。

峠の沢に3カ所を買って、10年の年賦金で。それから
10年目には、1年か、小作金をまるまるもらって、お
まえの小遣いにしろといって、そんなふうにして。

その代金はどうやって払ったの？

(65) siru:wa 〈siro-wo-waで、代ヲハ。

え？

代金はどうやって払ったの？ タンゴを織って、織り
賃をもらって、って。

養蚕をして、それから、それをタンゴにして、それを
売って、それをもっていってほらったんだよね。

1反5円ぐらいで？

5円じゃないよ。3円ぐらいだよ。

それでむかしはね、あの、オウガ（糸をまく粹）といっ
て、（それで）ぶった（糸をまいた）んだよね、みんな。
ぶって、それから、それを輪にして、目方にかけて、
そんなふうにしてから、その、目方にかけずには、糸
を、あれをしなかったよ。それから糸を紡いで、そう
して、タンゴにして、タンゴにして染め屋へいって。

(66) siNzjarara 〈si-ni-si-ari-aro-waで、ni-si
は否定のズ成立以前のかたち。

むかしはカイコを飼うと、糸に引いて、いちばんさき
に年貢をとって、それからそのあとは、引いて紡いで。

その、おおむかしはね、年貢の横糸といって、上平と
いって、上平の宿があって、それからそこへ、糸が何
匁、それから、それが、糸を何匁・・・。

1尺分3匁だよ。

何匁で何尺分といってね、そんなふうにして。

私が織ったよ、それ。

それに私はその、繭をね、指でつむいで、そんなふう
にして集めてしたのを、それを・・・。

1尺分3匁・・・。

じゃ、いまの税金ね。

なぎ : N.: ze:kiNno no, sori: oqte, zjo:hirani oqte, soikara neNgun oqte, sogaNsite, sori:wa waga orara, miNna. oqte, uno, sono, zjo: hirate jowa ci:todoani, osikaiorite jowa siqkari site, sono, osikaioriwa jakubano ke:hi. hoika: sono, zjo:no:origa okami: osamero kane. sorea hjakusjo:kara itode toroadara, neNgun. maNno ze:kiNna wari-ni. toqte, sori: warewari: tanoqde cumoga-sete, he:kara, sori: orasete. warewarewa ko: oqtoqti: orara jo, sori:. ikuneNka. sori, miNno:meNnani oriNnakoga, ma, nakanogo:demo zju:niNka zju:goniNguria araNno:wa, sori: oro sitoga.

べん : jadoteqte no:, jadono aroadoazja.

なぎ : soikara zjo:hiranogawa, jadono aroajo(67), jadozja orazuni, adani, oro:ho:doa hitomo aroN, oro:ho:naqke hitomo aroNdoaNte, jakubade tanoqdeko: orasetaNnea. saqdaN, zjo:hiraga saqdaN, saqdaNga iqkeN(68). he:kara, osikaerioriwa gotaN. sogaNsite oqte, sori: miNna warewarega oqte, neNgun: osametoadoazja. ko: sjoqtoqti: orara jo, sori:. ikara, neNgun: siqte, hara no, ito-de toqte kuni: osamero tokinja, N, tabaN tabanete, iqto:, nito:jo cukete. waremo nakanogo:de roqkeN, iqto:N naroa uci: hja: qte no, wagoamo(69) toraroaga. uno, sogaNsite iqto:, nito:jo cukete, cjaNto, korewa icibaN, korewa nibaNte. suto modoso sito-wa naq ... modosiwa siNnakodoazja, adaN. ikura hetademo. adaN, sonohitono tekuse-de ... doaNte, hidoku jakubamo oqkanaka-roada:.

なぎ : wareNsja:wa adani, saNnaNde momidasigurasidoaNte, ojakara muroazuN kuru: site, kodomo:, goniNno kodomo sodatetoa-doazja. daredo:, manja maruqde naqkedoa-ga, uno, hutarisika nakute, manja, maru-boadoaga, sori: oNnagono tede kurusi-qde. otokomo hatarako hitowa hatarakoga, ha-taraki, waga eNsja:dewa, jo:curi(70) dero-wa, derowateqte, curero tokimo ari, cureN-no: tokimo ari. curo tokinja koqgaNdoajo gokaNmo ziqkaNmo cuqte kuroda:. kara, curiNna: tokinja hutacukimo moqte kiNna-kodara. sogaNsite oNnagowa, mukasino ju:, onokogowa hidoku kurusimetoada, oN-nago:wa.

文司 : maNmo oNnasideka aNnja:.

なぎ : maniwadoani, mukasino oNnagowa hidoku

ソー。ゼーキンノ ノ、ソリー オッテ、ジョーヒラニ オッテ、ソイカラ ネンゲン オッテ、ソガンシテ、ソリーワ ワガ オララ、ミンナ。オッテ、ウノ、ソノ、ジョーヒラテ ヨワ チートドアニ、オシカイオリテ ヨワ シッカリ シテ、ソノ、オシカイオリワ ヤクバノ ケーヒ。ホイカー ソノ、ジョーノーオリガ オカミー オサメロ カネ。ソレハ ヒャクショーカラ イトデ トロアダラ、ネンゲン。マンノ ゼーキンナ ワリニ。トッテ、ソリー ワレワリー タノッデ ツモガセテ、ヘーカラ、ソリー オラセテ。ワレワレワ コー オットティー オララ ヨ、ソリー。イクネンカ。ソリ、ミンノーマンナニ オリンナコガ、マ、ナカノゴデモ ジューニンカ ジューゴニングリャ アランノーワ、ソリー オロ シトガ。

ヤドテッテ ノー、ヤドノ アロアドアジャ。

ソイカラ ジョーヒラノガワ、ヤドノ アロアヨ、ヤドジャ オラズニ、アダニ、オローホードア ヒトモ アロン、オローホーナッケ ヒトモ アロンドンテ、ヤクバデ タノッデコー オラセタンネア。サッダン、ジョーヒラガ サッダン、サッダングアイッケン。ヘーカラ、オシカエオリワ ゴタン。ソガンシテ オッテ、ソリー ミンナ ワレワレガ オッテ、ネンゲー オサメトアドアジャ。コー ショットティー オララ ヨ、ソリー。イカラ、ネンゲシッテ、ハラ ノ、イトデ トッテ クニー オサメロ トキニャ、ン、タバノ タバネテ、イットー、ニトヨ ツケテ。ワレモ ナカノゴード ロッケン、イットー ナロア ウチー ヒャーッテ ノ、ワゴアモ トラロアガ。ウノ、ソガンシテ イットー、ニトヨ ツケテ、チャント、コレワ イチバン、コレワ ニバンテ。スト モドソ シトワ ナッ・・・モドシワ シンナコダアジャ、アダニ。イクラヘタデモ。アダニ、ソノヒトノ テクセデ・・・ドアンテ、ヒドク ヤクバモ オッカナカロアダー。

ワレンシャーワ アダニ、サンナンデ モミダシグラシダンテ、オヤカラ ムロアズン クルーシテ、コドモ、ゴニンノ コドモ ソダテトアドアジャ。ダレド、マニャ マルッデ ナッケドアガ、ウノ、フタリシカ ナクテ、マニャ、マルボアドアガ、ソリー オンナゴノ テデ クルシッデ。オトコモハタラコ ヒトワ ハタラコガ、ハタラキ、ワガエンシャーデワ、ヨーツリ デロワ、デロワテッテ、ツレロ トキモ アリ、ツレンノー トキモ アリ。ツロ トキニャ コッガンドアヨ、ゴカンモ ジッカンモ ツッテ クロダー。カラ、ツリンナー トキニャ フタツキモ モッテ キンナコダラ。ソガンシテ オンナゴワ、ムカシノ ユー、オノコゴワ ヒドク クルシメトアダラ、オンナゴワ。

マンモ オンナシデカ アンニャー。

マニワドアニ、ムカシノ オンナゴワ ヒドク ク

ええ。税金のね、それを織って、上平に織って、それから年貢に織って、そうして、それをは私が織ったよ、みんな。織って、あの、その、上平というのは少しだけど、お控え織りというのはたくさんやって、その、お控え織りは役場の経費。それからその、上納織りがお上へ納める金。それは百姓から糸でとったんだよ、年貢に。いまの税金として。とって、それをわれわれを頼んで紡がせて、それから、それを織らせて。われわれは子を背負って織ったよ、それを。何年か。それを、みんながみんな、織らないけど、ま、中之郷でも10人か15人ぐらいいたと思うよ、それを織る人が。

宿といってね、宿があったんだよね。

それから上平のは、宿があったのを、宿では織らずに、なにしろ、織れる人もいるし、織れない人もいるしだから、役場で頼んで織らせたんだよ。3反、上平が3反、3反が1ケン。それから、お控え織りは5反。そうやって織って、それをみんなわれわれが織って、年貢を納めたんだよ。子を背負って織ったよ、それを。それから、年貢(の糸)を引いて、もうね、糸でとってクニへ納めるときには、ん、束に束ねて、1等、2等をつけて。私も中之郷で6軒、1等になったなかへは行ってね、私のも、とったけど。あの、そうやって1等、2等をつけて、ちゃんと、これは1番、これは2番って。そうすると、戻す人はない・・・戻しはしないんだよ、なにしろ。いくら悪くても。なにしろ、その人の手癖で、・・・だから、ひどく役場もこわかったんだよ。

(67) aroajo <ararowo <ari-aro-wo。連体=名詞形の対格。

(68) iqkeN ケンという単位は未詳。

(69) wagoamo <waga-wo-mo。連体形の名詞用法。

私なんかはなにしろ、三男で財産なしの暮らしなもんだから、親からもらわずに苦労して、子どもを、5人の子ども育てたんだよ。だけど、いまは死んでいないんだけど、あの、二人しかいなくて、いまは、死んだんだけど、それを女の手で苦しんで。男も働く人は働くけど、働き、うちなんかでは、魚釣りにいく、いくとって、釣れるときもあり、釣れないときもあり。釣るときにはこんなのを、5貫も10貫も釣ってくるんだよ。それから、釣らないときにはふた月ももてこないんだよ。そうやって女は、むかしのね、男はひどく苦しめたんだよ、女をは。

(70) jo:curi <iwo-curi。

いまも同じだよ。

いまはだけど、むかしの女はひどく苦しんだんだよ。

- kurusimoadara.
- しず子 : manimo onokogowa miNna huju:kazokude-
ka aNnea:go:(71). oNnagonoka kogaN kiri-
ba:(72) site hataraqte, kocukea torune:.
- なぎ : aiNsja:wa no:, kono, neNkaraneNzju: itosi-
goto: sitoadoaNte, neNkaraneNzju: orimo-
no: oqtari, sigoto: sitari. sogaNdoaNte iqs-
jo:macudeja sono, orimoNde.
- べん : mukasiwa zibatateqte, manja takahatado:
N, zibatadeno. miqkani iqtaNcucu oruomo-
Ndara.
- なぎ : warja... zju:iciNcide rokutaN, oroa koton-
arowa, zibatade, zju:iciNciN.
- べん : zju:haciNcini dokutaN(73) oqte.
- なぎ : sogaNnaqte. agagoaN no:, juru nezuN oroa
hitomo nakaNno:wa. ara hjo:baNni naqte.
zi:saNga jakuzadoaNte(74). adaN no:,
ugaN jakuzadoa hitoa nakaraNno:wa.
- なぎ : mukasino kotowa hanasitemo hanasikirina-
kodara.
- 文司 : hanasijare.
- なぎ : konasamoa noa, jasinu:towa, wagawa jega
hetadoa(75) jedoadoazja. sokode kokode
iqpia jasino:to, ameno huruto kokoN kake-
zunjadoadara. kokoN kakerutowa, naonao
to: aketoqte:, kacu:curi: dete kite, sono,
kacu:no hanacjo kono e:gano saqkatade
jakodoazja. ... konasamo: korosogani
jakozjo:teqte(76), sogaN naro:ti: kurusiqde
kurusiqde, uno, ko: sjoqtoqti: jasinoadara
jo. N:ga(77) ojaga sjoqkja.
- べん : makusano biqgo:(78) nuqte, makusano biq-
gode sogoasite koko:ka kogoani ..., mia-
nogarawa takei kiqte hu:kiN juqte(79) so-
goaNsite.
- なぎ : makusate jo monowa meqtaN naqkedara.
takedeka kakoadare, miNna.
- べん : e:, makusano biqgode no:.
- なぎ : manikoa tatamidaNnea, ... mosjodaroazja.
- べん : mosjomo icime: ikura:teqte no:.
- ルシモアダラ。
- マニモ オノコゴワ ミンナ フユーカゾクデカ
アンネーゴー。オンナゴノカ コガン キリパー
シテ ハタラッテ、コツケア トルネー。
- アインシャーワ ノー、コノ、ネンカラネンジュー
イトシゴトー シトアドアンテ、ネンカラネンジュー
オリモノー オツタリ、シゴトー シタリ。ソガ
ンドアンテ イッシュォーマツデヤ ソノ、オリモ
ンデ。
- ムカシワ ジバタテッテ、マニャ タカハタドーン、
ジバタデノ。ミッカニ イッタンツツ オルオモン
ダラ。
- ワリャ ... ジューイチンチデ ロクタン、オ
ロア コトノ アロワ、ジバタデ、ジューイチン
チン。
- ジューハチンチニ ドクタン オッテ。
- ソガンナッテ。アガゴァン ノー、ユル ネズン
オロア ヒトモ ナカンノーワ。アラ ヒョーバン
ニ ナッテ。ジーサンガ ヤクザドアンテ。アダン
ノー、ウガン ヤクザドア ヒトア ナカランノーワ。
- ムカシノ コトワ ハナシテモ ハナシキリナコダラ。
ハナシヤレ。
- コナサモァ ノァ、ヤシヌートワ、ワガワ イェガ
ヘタドァ イェドアドアジャ。ソコデ ココデ イッ
ピア ヤシノート、アメノ フルト ココン カケズ
ニャドアダラ。ココン カケルトワ、ナオナオ トー
アケトッテ、カツーツリー デテ キテ、ソノ、
カツーノ ハナチョ コノ エーガノ サッカタデ
ヤコドアジャ。... コナサモー コロソガニ ヤ
コジョーテッテ、ソガン ナローティー クルシッデ
クルシッデ、ウノ、コー ショットッティー ヤシ
ノアダラ ヨ。ソーガ オヤガ ショッキャ。
- マクサノ ビッゴー ヌッテ、マクサノ ビッゴデ
ソゴアシテ ココーカ コゴアニ...、ミアノガラ
ワ タケイ キッテ フーキン ヌッテ ソゴァンシ
テ。
- マクサテ ヨ モノワ メッタン ナッケダラ。タケ
デカ カコアダレ、ミンナ。
- エー、マクサノ ビッゴデ ノー。
- マニコア タタミダンネァ、... モシヨダロアジャ。
- モシヨモ イチメー イクラーテッテ ノー。

いまも男はみんな扶養家族だよ。女がこんなに切り葉をして働いて、小遣いをとるんだ。

私なんかはね、この、年がら年中糸仕事をしたもんだから、年がら年中織物を織ったり、仕事をしたり。そんなふうだから、一生末代その、織物で。

むかしは地機といって、いまは高機だけど、地機でね。3日に1反ずつ織ったもんだよ。

私は・・・11日で6反、織ったことがあるよ、地機で、11日に。

18日に6反織って。

そうやって。私のようにね、夜寝ずに織った人もないだろうよ。私は評判になって。じいさんが体の弱い人だから。なにしろ（また？）、あんなに体の弱い人はいなかったと思うよ。

むかしのことは話しても話しきれないんだよ。

話さないよ。

カイコをね、養うと、私のは家が貧しい家なんだよね。そこでここでいっぱい養うと、雨が降るとここにかけなくちゃならないんだよ。ここにかけると、なおさら戸を開けて、カツオ釣りにいってきて、その、カツオのハラモをこのエイガのまえて焼くんだよ。・・・カイコを殺すように焼くんだといって、そんなふうになりながら苦しんで苦しんで、あの、子を背負って養ったんだよ。おまえの親が知っているよ。

マクサの芯をぬいて、マクサの芯でそんなふうにしてここをこんなふうに・・・、繭のには竹を切って箒に結って、そんなふうにして。

マクサというものはめったにないんだよ。竹で掃いたよ、みんな。

マクサの芯でね。

いまでこそ畳だけど、・・・ムシロだったよね。

ムシロも一枚いくらといってね。

(71) huju:kazokudeka aNne:go: ~ka~ne:go: は、中之郷では~koa~nja:goaとなるべきところ。koaとgoaは、ka-wa、ga-waからの変化で、-waのつかないkaだけのときはgaにも-waがつかない。

(72) kiriba: <kiriba-wo。キリバは出荷する園芸作物（フェニックス）の葉先を切ったり、トゲを落としたりする作業。

(73) dokutaN r>dの変化で、まれに語中でもおこる。

(74) jakuzadara 体力ガナイ、体ガ弱イ。怠けて働かない人は、kedja:jamiまたはtocijami。

(75) wagawa jega hetadoa 持ち主wagaと持ち物jeによる二重主格。

(76) jakozjo:teqte ~zjo:teは、連体形につづく形式で、イッテiqteにつづく（~teqte）引用をあらわし（間接話法的）、スルスjowaにつづく（ショウトスルの意味になる。

(77) N:ga <unu-ga

(78) makusano biggo: マクサはハチジョウススキで、牛の餌にしたり、ムシロを編んだりする。ビッグはその芯で柔らかい穂が入っている。

(79) hu:kiN juqte このような結果のむすびつきがさかんに使用される。

しず子 : waga sjokemade, takebo:kidaroazja.

なぎ : N:, takebo:ki.

しず子 : tatamino ueo haki, itano ue: haki.

なぎ : takebo:kideka arare. takedeka kakoadare.
kono takezja naqkezja no. kono takezja ju-
inoazja. korea warukaqti:zja.

文司 : o:so:zino hanasjo suka.

しず子 : N:, mukasino o:so:zjo?(80)

文司 : asuwa boNni naronNte o:so:zjo sijarogaN
joi.

なぎ : asuwa, nanukamja:niwa, susu: hako:zjo:teq-
te, o:so:cite ma, iNnakodara. susu: hako:z-
jo:teqte, uno, boNno nanukaN narinako
mja:ni, susu: hakazunjazjo:teqte, taki: ja-
makara kaq...kite, koko: takede, kogaN
hakodara. hekara.

しず子 : gomide no:, hjo musite musite musite no:,
marude susude, maqkuruna susuga kogaN
iqsuNmo tamarodaNno:.

なぎ : he:kara, sjo:gacuwa, hara sjo:gacuN naron-
Nte, hacukamja:ni hakiNnoato, sjo:gacuN
naro:zjo:teqte no:, sjo:gacuno, haqte, maN-
nogoan no, kogaN, daremo tatamjo suq-
ja naqkedara. musirodeka aroadare, ono,
mosjo. sono, makusano mosjo.

べん : waga edewa tetega no:, kori: kosje:ro sito-
de, soede, kori: suqte, miNna tatamjo, so-
goaNsite kosje:toa tokorodoazja.

なぎ : N: sugakiwa sa, weNdanja su: aqde, takede,
siqbuwa ikeN naqte, sogaN naqte aro:,
o:so:zjo sazunjazjo:teqtewa, onokogono ka-
taqtekowa, tegade kakidasitaNneja. N, te-
gade kakidasikowa sitaNne: N, tegade ka-
kidasite, sokoga icibaN deazizjo:teqte. su-
gakino sita: miNna ikedaroazja no:.

べん : he:.

なぎ : kedo:cute joazja.

べん : anjo?

なぎ : sugakino sitoa.

べん : ...

ワガ ショケマデ、タケボーキダロアジャ。

ソー、タケボーキ。

タタミノ ウエオ ハキ、イタノ ウエー ハキ。

タケボーキデカ アラレ。タケデカ カコァダレ。コ
ノ タケジャ ナッケジャ ノ。コノ タケジャ ユ
イノァジャ。コレア ワルカッティージャ。

オーソーゾノ ハナショ スカ。

ソー、ムカシノ オーソーゾ?

アスワ ボンニ ナロンテ オーソーゾ シヤログ
ン ヨイ。

アスワ、ナヌカミャーニワ、ススー ハコジョーテッ
テ、オーソーチテ マ、インナコダラ。ススー ハコ
ジョーテッテ、ウノ、ボンノ ナヌカン ナリナコ
ミャーニ、ススー ハカズニャジョーテッテ、タキー
ヤマカラ カッ...キテ、ココー タケデ、コガ
ン ハコダラ。ヘカラ。

ゴミデ ノー、ヒョ ムシテ ムシテ ムシテ ノー、
マルデ ススデ、マックルナ ススガ コガン イッ
スンモ タマロダンノー。

ヘーカラ、ショーガツワ、ハラ ショーガツン ナロ
ンテ、ハツカミャーニ ハキンノアト、ショーガツン
ナロジョーテッテ ノー、ショーガツノ、ハッテ、
マンノゴアン ノ、コガン、ダレモ タタミョ スッ
チャ ナッケダラ。ムシロデカ アロアダレ、オノ、
モシヨ。ソノ、マクサノ モシヨ。

ワガ エデワ テテガ ノー、コリー コシェーロ
シトデ、ソエデ、コリー スッテ、ミンナ タタミョ、
ソゴアンシテ コシェートァ トコロドアジャ。

ソー スガキワ サ、ウェンダニャ スー アッデ、
タケデ、シッブワ イケン ナッテ、ソガン ナッテ
アロー、オーソーゾ サズニャジョーテッテワ、
オノコゴノ カタッテコワ、テガデ カキダシタンネ。
ン、テガデ カキダシコワ シタンネー。ン、テガデ
カキダシテ、ソコガ イチバン デアジジョーテッ
テ。スガキノ シター ミンナ イケダロアジャ ノー。

ヘー。

ケドーツテ ヨアジャ。

アニョ?

スガキノ シトア。

...

私知っているまで、竹ぼうきだったよね。

ええ、竹ぼうき。

畳の上をはき、板の上をはき。

竹ぼうきだったよ。竹ではいたんだよ。この竹じゃないよね。この竹では結わないよ。これは悪いそうだよね。

大掃除の話をしようか。

え、むかしの大掃除？

(80) o:so:zjo? <o:so:zi-woで、問い返しやその返事にはヲ格の名詞が使用される。

あすは盆になるから大掃除をしましょうね。

あすは、七日前には、煤をはくといって、大掃除とはいわないんだよ。煤をはくといって、あの、盆の七日にならないうちに、煤をはかなくちゃ、といって、竹をヤマから刈ってきて(?)、ここを竹で、こんなふうにはくんだよ。それから。

薪でね、火を燃やして燃やして燃やしてね、まるで煤で、真っ黒な煤がこんなに1寸もたまるわけだろ。

それから、正月は、もう正月になるから、20日前にはかないと、正月になるといってね、正月の・・・いまみたいだね、こんなに、だれも畳を敷いてはいないんだよ。ムシロだったんだよ、あの、ムシロ。その、マクサのムシロ。

うちではお父さんがね、これを作る人で、それで、これをして、みんな畳を、そうやって作ったんだよ。

ああ、スガキはね、上には簀を編んで、竹で、下(尻)は水たまりになって、そんなふうになっているのを、大掃除をしなくちゃっていうのは、男が一緒になって、手グワでかきだしたよ。ん、手グワでかきだしたんだ。ん、手グワでかきだして、そこ(底?)がいちばんだいじだといって。スガキの下はみんな池だったよね。

ええ。

ケドーズといったじゃない。

なにを？

スガキの下を。

??

なぎ : N:, hara, hasida anikano otereba.

べん : mukasiwa cubakjo moqde, miNna kokode hosite no, aburaN sitoamoNdara.

文司 : uno noa, mukasino koqkubano hanasjo so-
doazja. kedo:zutoka, sugakitoka, okuzito-
kate

べん : aNno hanasjo site

なぎ : sugakjo!

べん : cubakjowa no:, moqde.

なぎ : su:ga:ki:, sugaki! mukasi bo:zjo sitoa to-
koro. cjawaNjo araqtari, imo: kokuqtari,
kome: toqdari sitoa tokoro, sugakite jozja,
mukasiwa no:. manja koqkuba:te joni.
sono sugakino hanasi.

べん : he: sugaki. sugakiwa no:, mukasiwa no:,
sugakiwa, sorewa no:, mukasiwa kogoani,
uno, sude aqde, sugakiteqte no, kogoaN,
iqkeNguria detoa tokori:, koko:, kame ie-
toqte:, kokoniwa nagasiteqte, cjawaNjo
aru: tokoro: kosje:te, se:kara, ureni, hoka-
niwa su: aqde, sogoasiteqte:, sokode su-
gakiteqte no:, anikoa sitoa tokorodoazja.

しず子 : : bo:zjo.

べん : bo:zjo site no:, sogoasite. kogoaNdoa no:,
noazurunabede, imoda sacumoa nite no:,
njoageni, siodakiN site, he:kara, ju:mesini-
wa noa, mugimesiteqte, woagome: cuqte
no:, sori: irete, mugjo ninagarani, weNdea
hurikakete, sogoaNsite nite, mugimesiteqte,
he:kara, sacumasiruteqte, soraga(81) ocu-
keniwa sacumasiruni, sacumano harja(82)
miso: irete nite, sacumoa kogoN kirideate,
sacumada, imodacuqte, no.

文司 : omja: totoga kogaNda: ju: cuqte kite, bu-
qtagirikomaNno:zjai.

べん : dari:? ari:?

文司 : N:.

べん : anjo?

文司 : jo:.

べん : jo:?

文司 : jo: totoga siqkari cuqte kitoa, ki:, jo:.

ソー、ハラ、ハシダ アニカノ オテレバ。

ムカシワ ツバキョ モッデ、ミンナ ココデ ホシ
テ ノ、アブラン シトアモンダラ。

ウノ ノア、ムカシノ コックパノ ハナシヨ ソ
ドアジャ。ケドーズトカ、スガキトカ、オクジトカ
テ・・・。

アンノ ハナシヨ シテ・・・。

スガキョ!

ツバキョワ ノー、モッデ。

スーガーキー、スガキ! ムカシ ボージョ シトア
トコロ。チャワンヨ アラツタリ、イモー コクッ
タリ、コメー トッダリ シトア トコロ、スガキテ
ヨジャ、ムカシワ ノー。マニャ コックバーテ
ヨニ。ソノ スガキノ ハナシ。

ヘー スガキ。スガキワ ノー、ムカシワ ノー、ス
ガキワ、ソレワ ノー、ムカシワ コゴアニ、ウノ、
スデ アッデ、スガキテッテ ノ、コゴアン、イッケ
ングリア デトア トコリー、ココー、カメ イエッ
ター、ココニワ ナガシテッテ、チャワンヨ アル
トコロー コシェーテ、セーカラ、ウレニ、ホカニ
ワ スー アッデ、ソゴア シトッテ、ソコデ ス
ガキテッテ ノー、アニコア シトア トコロドアジャ。

ボージョ。

ボージョ シテ ノー、ソゴアシテ。コゴァンドア
ノー、ノアズルナベデ、イモダ サツモア ニテ ノー、
ニョアゲニ、シオダキン シテ、ヘーカラ、ユーメシ
ニワ ノア、ムギメシテッテ、ヲアゴメー ツッテ
ノー、ソリー イレテ、ムギョ ニナガラニ、ウェン
デア フリカケテ、ソゴァンシテ ニテ、ムギメシテッ
テ、ヘーカラ、サツマシルテッテ、ソラガ オツケニ
ワ サツマシルニ、サツマノ ハリャ ミソー イレ
テ ニテ、サツモア コゴン キリデアテ、サツマダ、
イモダツッテ ノ。

オミァー トトガ コガンダー ユー ツッテ キテ、
ブッタギリコマンノージャイ。

ダリー? アリー?

ソー。

アニョ?

ヨー。

ヨー?

ヨー トトガ シッカリ ツッテ キトア、キー、ヨー。

ああ、もう、箸やなにかが落ちれば。

むかしは椿をもいで、みんなここで干してね、油にしたもんだよ。

あのね、むかしの台所の話をしてるんだよ。ケドーズとか、スガキとか、オクジとかって。

なんの話をして・・・。

スガキ！

椿をはね、もいで。

スーガーキー！ スガキ！ むかし台所仕事をしたばしょ。茶碗を洗ったり、サトイモの皮をむいたり、米をといだりしたばしょ、スガキっていうじゃない、むかしはね。いまはコックバというけど。そのスガキの話。

ああ、スガキ。スガキはね、むかしはね、スガキは、それはね、むかしはこんなふうに、あの、簀で編んで、スガキといってね、こんなに、1間ぐらい出たところへ、ここを、カメをいれておいて、ここにはナガシといって、茶碗を洗うところを作って、それから、あれに、ほかには簀を編んで、そんなふうにしてから、そこでスガキといってね、なにかをしたばしょだよ。

台所仕事を。

台所仕事をしてね、そんなふうにして。こんなね、縄つるナベで、サトイモやサツマイモをゆでてね、ニョアゲに、塩ゆでにして、それから、夕飯にはね、ムギ飯といって、粟米をついてね、それをいれて、ムギをたきながら、上へふりかけて、そうやってたいて、ムギ飯といって、それから、サツマ汁といって、自分たちのおつゆにはサツマ汁に、サツマの中へ味噌をいれて煮て、サツマをこんなふうに切り出して、サツマだ、サトイモだといってね。

(81) soraga 単数はsoigaで、こちらは、自然ニ、オノズカラの意味でも使用される。

(82) harja: <hara-e

あなたはお父さんがこんな魚を釣ってきて、切って入れたじゃない。

だれ？ わたし？

ええ。

なに？

魚を。

魚を？

魚をお父さんがたくさん釣ってきた、・・・・魚を。

べん : a:, zi:saNga jo: curi: no:, mikaredo:, arja,
arja kirja:doaNte kamiNzjarara.

なぎ : mukasiwa jo: cuqte kuruto na:, buNcisaN,
uno, haroa aketoadara. akete na, siqkari
cuqte kuruto, haroa akete, miNna uno, ha-
rano hugjo, uri:wa kogaNdo: sarade, uri:
haraiqpja tabero hitowa, tabesasero hito
nakaqteija. aNmari mezurasikute. sogaNsi-
te, hugjo aketoqti:, hugjo ake ... koki:(83)
kaqte, hugjo akete, ciri:ni site, sogaNsite
uroadara. dea:ciku site, dea:ciku site uru-
towa, adaN kitanaku site uro hitono ari,
dea:ciku site uro hitono ... diaciku site
uro hitonoga: moqte iqte boti:ga:(84) aq-
daNmo siNneada:ru:, mekatano herineada:
ru:. kitanaku site urua hitonoga: mekata-
no heqte heqte, maruo:zoNsjoaozja. sogaN,
sogaNka narare jo, mukasiwa. maNnogoa-
ni uno, ukude dete(85).

べん : maNno goani kome: niNzjaroaNte no:, mu-
kasiwa. mukasiwa mugidano woagometeq-
teka sitarega. ka:, komewa tabarakara ka-
woadake. kunikarawa iqsecu kiwa sezu.
tabarakara kaqte no:, soikara, naqke ...
joso(86) si: detoa sitowa, kamaboteqte(87)
iqcja(88) muraqte, sori: sjoqti: nadete. wa-
reNsja: tabarano naqkejoNte, kamabu:
muraqte no, sori: nadete cuqte, sogoasite,
uno, nihja:ni su tokori:wa iqpe:haNbuN.
mukasiwa niNzjarara. uno, hekara, tonari-
ni no:, kodomodemo arutowa, koregarateq-
te nirutowa, gaqko:i:(89) deru:teu, kogaN
botamociN site no, sibaN kuruqde keru:te
joNte, sogaNsite kerutowa, denagara, so-
no kodomoN ketoqti: derodoazja. keruto-
wa uresigaqte no, kuwodoazja. sizuaNdo:
iteqte, cucu. soide mukasiwa no, uno, kuni-
karawa kozu. heikara, kuninogoa kawowa
sjokunasi. simadeka miNna ... sitoa ...
cubakiNsja:jowa no, aburoa siqkari siboq-
te, sori: miNna kuwarodara(90), sono abu-
rowa. waga edewa, waga ojan noa, abu-
rasiboridaroga, sono, nibaNmade ketoqti:,
saNbaNjo josete, kocukijosetoqte:wa, sori:
siboraro: ku:ga jokezjo:teqte, kuwaro mo-
Ndara. ga, maNnogowani urikea:wa naka-
roazja, abura:wa.

文司 : uno, nja:eNsja:wa(91) adaN site sitarora?

べん : e:?

文司 : nea:eNsja:wa adaN sitarora? gocisoNsja:
wa.

アー、ジーサンガ ヨー ツリー ノー、ミカレドー、
アリヤ、アリヤ キリヤードアンテ カミンジャラ。

ムカシワ ヨー ツッテ クルト ナー、ブンチサン、
ウノ、ハロァ アケトアダラ。アケテ ナ、シッカリ
ツッテ クルト、ハロァ アケテ、ミンナ ウノ、
ハラノ フギョ、ウリーワ コガンドー サラデ、ウ
リー ハライッピャ タベロ ヒトワ、タベサセロ
ヒト ナカッティヤ。アンマリ メズラシクテ。ソガ
ンシテ、フギョ アケトッティ、フギョ アケ・・・
コキー カッテ、フギョ アケテ、チリーニ シテ、
ソガンシテ ウロアダラ。ダーチク シテ、ダー
チク シテ ウルトワ、アダシ キタナク シテ ウ
ロ ヒトノ アリ、ダーチク シテ ウロ ヒトノ ..
・ ディァチク シテ ウロ ヒトノガー モッテ
イッテ ボティーガー アッダンモ シンネアダール、
メカタノ ヘリネアダール。キタナク シテ ウル
ヒトノガー メカタノ ヘッテ ヘッテ、マルオー
ゾンショドアジャ。ソガン、ソガンカ ナラレ ヨ、
ムカシワ。マンノゴアニ ウノ、ウクデ デテ。

マンノ ゴアニ コメー ニンジャロアンテ ノー、
ムカシワ。ムカシワ ムギダノ ヲアゴメテッテカ
シタレガ。カー、コメワ タバラカラ カヲアダケ。
クニカラワ イッセツ キワ セズ。タバラカラ カッ
テ ノー、ソイカラ、ナッケ・・・ ヨソア シー
デトア シトワ、カマボテッテ イッチャ ムラッテ、
ソリー ショッティ、ナデテ。ワレンシャー タバ
ラノ ナッケンテ、カマブー ムラッテ ノ、ソリー
ナデテ ツッテ、ソゴシテ、ウノ、ニヒャーニ
ストコリーワ イッペーハンブン。ムカシワ ニン
ジャララ。ウノ、ヘカラ、トナリニ ノー、コドモデ
モ アルトワ、コレガラテッテ ニルトワ、ガッコー
イー デルーテウ、コガン ボタモチン シテ ノ、
シバン クルッデ ケルーテ ヨンテ、ソガンシテ
ケルトワ、デナガラ、ソノ コドモン ケトッティ
デロドアジャ。ケルトワ ウレシガッテ ノ、クヲ
ドアジャ。シズアンドーイテッテ、ツツ。ソイデ ム
カシワ ノ、ウノ、クニカラワ コズ。ヘカラ、クニ
ノゴア カヲワ ショクナシ。シマデカ ミンナ ...
シトア・・・ ツバキンシャーヨワ ノ、アブロー
シッカリ シボッテ、ソリー ミンナ クワロダラ、
ソノ アブローワ。ワガ エデワ、ワガ オヤノ ノア、
アブラシボリダロアガ、ソノ、ニバンマデ ケトッティ、
サンバンヨ ヨセテ、コツキヨセトッテワ、ソリー
シボラロー クーガ ヨケジョーテッテ、クワロ
モンダラ。ガ、マンノゴワニ ウリケアーワ ナカ
ロアジャ、アブラーワ。

ウノ、ニャーエンシャーワ アダン シテ シタロア?

エー?

ネァーエンシャーワ アダン シタロア? ゴチソ
ンシャーワ。

ああ、じいさんが魚を釣りにね、歩いたけど、私は、私はきらいだから食べなかったよ。

むかしは魚を釣ってくるとね、文司さん、あの、腹をあけたんだよ。あけてね、たくさん釣ってくると、腹をあけて、みんなあの、腹の内蔵を、あれをはこんな皿で、あれを腹一杯食べる人は、食べさせる人いないそうだよ。あんまり珍しくて。そんなふうにして、内蔵をあけてから、内蔵をあけ・・・ウロコを落として、内蔵をあけて、きれいにして、そうやって売ったんだよ。きれいにして、きれいにして売ると、なにしろきたなくして売る人があり、きれいにして売る人がある、)・・・きれいにして売る人のところにもって行って、魚屋?のところへ、どうにもしないだろう、目方がへらないだろう。きたなくして売った人のは目方がへってへって、まる大損するんだよね。そんなふう、そんなふうになったよ、むかしは。いまみたいにあの、あそこにいって?。

いまのように米をたかなかったからね、むかしは。むかしはムギだの粟米とってやったが。それから、米はたんばから買っただけ。クニからはいっさい来はないし。たんばから買ってね、それから、ない・・・手伝いをしにいった人は、カマボ(鎌穂)とって、1把もらって、それを背負ってきて、粉を落として。私なんかたんばがないから、カマボをもらってね、それを粉を落としてついて、そうやって、あの、2杯にするところへは1杯半分。(それしか?)むかしは炊かなかったよ。あの、それから、となりにね、子どもでもいると、この子の分にとって炊くと、学校へ行くという、こんなふうにはた餅にしてね、葉っぱにくるんでくれてやるというから、そうやってくれてやると、行きながら、その、子どもにやってから行くんだよ。やるとうれしがってね、食うんだよ。(私の娘を)シズねえさんといって、よく。それでむかしはね、あの、クニからは来なくて。それから、クニのを買うのは知らないし。島でみんな・・・した・・・椿なんかをはね、油をたくさんしぼって、それをみんな食ったんだよ、その油を。うちでは、うちの親がね、油しぼりだったけど、その、2番までくれてやって、3番を集めて、かき集めては?それをしぼったのを食うのがいいんだとって、食ったもんだよ。だけど、いまのように売り買いはなかったよね、油をは。

(83) koki: <koke-wo

(84) boti:ga: <boti:-gara。ボティーは魚屋か。

(85) ukude dete 民謡の歌詞にも、デテ ハルヤマデ(春山へ行って)がある。デ格で行き先をあらわす用法か。

(86) josa: <josa-wo

(87) kamabo 鎌穂。稲刈りを手伝ったときに手間賃としてもらってかえった。

(88) iqcja iciwaからの変化だが、促音を挿入して拍数をあわせている。2把はnija。

(89) gaqko:i: 長い母音おわりの名詞のへ格はiが長音化する。青ヶ島ではさらに強化され、ri:となる。

(90) kuwarodara <kuwi-aro-ni-te-aro-wa。現在ではさらに融合して、kuwoadara。

あの、苗植えなんかはどうやってしたの?

(91) nja:eNsja:wa <nae-ire-no-sae (?) -wa

え?

苗植えなんかはどうやったの? ごちそうなんかは。

べん : neai:(92) derowa no, neajo jero tokiniwa no:, tanoqde miNna, sogaN, derutowa, kogoaNdoa ohaqcide mesjo sasaqde no, oqcu-keteqte moqte derodoazja, hirumesini. ho-suto, miNnade dete, neajo je: no:, usimi: (93) moqte iqte, tabaroa cukuqte, sogoaN-site. he:kara, cjagasiniwa imoto sacumoa nite, sogoasite, kogoado: kagode sjoqte moqte dete no:, sogoasite sitoamoNdara. ka:, karo tokiniwa no:, mo, sogoasite karo tokiNmo sitaredo:, hirumesjowa nite moqte dete, kamabuteqte, kogoaN juqtemiNnaN sjowe: toadoazja. wareNsja:wa kamabu: muraqte muraqte no, siNjomoNde(94), aNnjomo na kanakado:.... sorede kuninogowa(95) iqse-cu kawazuN to:rowadara(96).

なぎ : hiqkasurara. uno, kawazuN to:roazjo:te jutowa.

文司 : soregaka jokedare.

なぎ : soremo joqkedoaga.

しず子 : geNsizideano hanasideka are.

なぎ : wara koNdo:zi:te(97) juwa sjokaroaga, do-no koNdo:zi:dakano. koNdo:zi:te jo sito-wa sjokarara.

べん : koNdo:zi:te jo sitowa no:, ha, koN:goN naqte, kogoA naqte miqciga(98), ukuno sagamici kogaN sitoqti: sjaNmjo(99).

なぎ : waga eN arara, sonositowa.

べん : koNdo:zi:te juto o:. anjo sjo!(100) soke: sjaNmjo otosoto waga sjowonite(101) jutowa.

なぎ : wara waga eni aroaNteka sjokega.

べん : soikara no, uno sikoheasi:doNne:no(102) jaketoa tokinja

なぎ : sorewa harja waga bo:ku naroa tokideka aNnea.

べん : koNdo:zi:te juto ... kazidaqti:ja, sjokunea-ka:te juto dokodaro:te joNte sikoheasi:doNne:doazjate jararja(103), tacuemozi:ga edoazjate jutowa, N: orega iqtatomo tomo(104) kotowa dekozu:teqte no:, sogaN naqte.

なぎ : wara no, sono, koNdo:zi:ga waga ede bjo:bu: haqte arara.

ネアイー デロワ ノ、ネアヨ イェロ トキニワ ノー、タノッデ ミンナ、ソガン、デルトワ、コゴァンドァ オハッチデ メショ ササッデ ノ、オッツケテッテ モッテ デロドアジャ、ヒルメシニ。ホスト、ミンナデ デテ、ネアヨ イェー ノー、ウシミー モッテ イッテ、タバロア ツクッテ、ソゴァンシテ。ヘーカラ、チャガシニワ イモト サツモア ニテ、ソゴァシテ、コゴアドー カゴデ ショッテ モッテ デテ ノー、ソゴァシテ シトアモンダラ。カー、カロ トキニワ ノー、モ、ソゴァシテ カロ トキンモ シタレドー、ヒルメショワ ニテ モッテ デテ、カマブテッテ、コゴァン ユッテ ミンナン ショウエートアドアジャ。ワレンシャーワ カマブー ムラッテ ムラッテ ノ、シンヨモンデ、アンニョ モ ナカナカドー・・・。ソレデ クニノゴワ イッセツ カワズン トーロワダラ。

ヒッカスララ。ウノ、カワズン トーロアジョーテ ユトワ。

ソレガカ ヨケダレ。

ソレモ ヨッケドアガ。

ゲンシジデアノ ハナシデカ アレ。

ワラ コンドージーテ ユワ ショカロアガ、ドノ コンドージーダカノ。コンドージーテ ヨ シトワ ショカララ。

コンドージーテ ヨ シトワ ノー、ハ、コンーゴン ナッテ、コゴア ナッテ ミッチガ、ウクノ サガミチ コガン シトッティー シャンミョ。

ワガ エン アララ、ソノシトワ。

「コンドージー」テ ユト 「オー」「アニョ ショ! ソケー シャンミョ オトソト ワガ ショヲニ」テ ユトワ。

ワラ ワガ エニ アロアンテカ ショケガ。

ソイカラ ノ、ウノ シコヘアシードンネーノ ヤケトア トキニャ・・・。

ソレワ ハリャ ワガ ボーク ナロア トキデカ アンネア。

「コンドージー」テ ユト ... 「カジダッティーヤ、ショクネアカー」テ ユト 「ドコダロー」テ ヨンテ 「シコヘアシードンネードアジャ」テ ヤリャ、「タツエモジーガ エドアジャ」テ ユトワ、「ソー オレガ イッタトモ トモ コトワ デコズ」ーテッテ ノー、ソガン ナッテ。

ワラ ノ、ソノ、コンドージーガ ワガ エデ ビョーブー ハッテ アララ。

苗植えに行くのはね、苗を入れるときにはね、頼んでみんな、そんなふうに、いくと、こんなお櫃で飯を頭にのせてね、(ご飯を)山のように押し詰めてもっていくんだよ、昼飯に。すると、みんなでいって、苗を入れにね、牛をもっていって、たんぼを作って、そうやって。それから、茶菓子にはサトイモとサツマイモをゆでて、そうやって、こんな籠で背負ってもっていってね、そうやってやったもんだよ。それから、刈るときにはね、も、そうやって刈るときにもやったけど、昼飯をは炊いてもっていって、カマボとって、こんなふうに結ってみんなに背負わせたんだよ。私なんかはカマボをもらってもらってね、結婚したばかりで、なにを(するの)もなかなか・・・・それでクニのをいっさい買わないでとあったんだよ。

- (92) neai: <nae-ire-e
(93) usimi: <usime-wo
(94) siNjomoNde 新世物デ
(95) kuninogowa <kuni-no-ga-wo
(96) to:rowadara <towori-aro-ni-te-aro-wa

わすれたよ。あの、買わないでとあったというと。

それがいいんだよ。

それもいいんだけど。

原始時代の話だよ。

私は近藤じいというのをは知っていたけど、どの近藤じいだね。近藤じいという人は知っていたよ。

- (97) koNdo:zi: 近藤重蔵の息子の富蔵(1805-1887)で、1827年八丈島に流罪となるが、赦免ののち八丈にもどり、この地で一生をおえる。

近藤じいという人はね、もう、腰曲がりになって、こんなになって歩いたものだけど、あそこの下り坂?・・・こうやってシラミを・・・。

- (98) miqciga <miki-si-gaで、アリをともなわな
いき過去形。
(99) sjaNmjo <sirami-wo

うちにいたよ、その人は。

「近藤じい」というと、「おー」「なにをしてるの!そこへシラミを落とすと私につくの!」というと。

- (100) anjo sjo! 疑問詞疑問文で連体形終止。注意の用法。
(101) sjowoni 背負ウ(ノ)ニ。

私はうちにいたから知っているよ。

それからね、あの、ヒコヘイアシーどのの家が焼けたときには・・・。

- (102) sikoheasi:doNne:no ヒコヘイ(?)兄殿ノ家ノ

それはもう私が大きくなったときだよ。

「近藤じい」というと、・・・「火事だそうだよ、知らないかい」というと、「どこだろう」というから、「ヒコヘイアシーどのの家だよ」といったら?「タツエモじいの家だよ」というと、「んー、俺がいても消えることはできず」といってね、そうやって。

- (103) jararja <ihwi-ari-are-ja
(104) tomo これは自動詞。本来なら他動詞のto-masoが使用されるべきところ。

私はね、その、近藤じいがうちで屏風をはっていたよ。

- べん : sorega sono, koNdo:zi:ga micunede maro-
baqti:ga, koNdo:zi:ga kozjo:te jowa micu-
nenno hamani arozja. arozja, sjotenja.
- なぎ : mago, urja.
- べん : he:?
- なぎ : urewa mago.
- べん : magowa magode beci.
- なぎ : misaobawa mago. misaobadaroazja?
- 文司 : manja kunidakana.
- べん : misaobaga ko ... waga ino tonariN suqde
aroazja.
- 文司 : umecuzihidanokamiwa sjoku ozjaranai?
- べん : he:?
- 文司 : umecuzi.
- べん : umecuzidonowa sjokunaqkja. wagawa(105)
sjokunakeNka maruboadare.
- なぎ : sorja waga otoqcuaNsja:ga ...
- べん : sono, umecuzidonono hakawa kokoni aroga,
uno, waga tetewa no, dete umecuzidonon
narowaqti:ga, miNna. 「konojowa nocini
sjakasjaN hiqkurikea:rojoNte mitoke」:te
osjararaqti:ga, hoNtoN hiqkurikea:roada:.
konea:da kunino hitono ozjaqte, sasiNjo
toqte moqte ozjaroadara.
- ソレガ ソノ、コンドージーガ ミツネデ マロバッ
ティーガ、コンドージーガ コジョーテ ヨワ ミツ
ネノ ハマニ アロジャ。アロアジャ、ショテニャ。
- マゴ、ウリャ。
- ヘー?
- ウレワ マゴ。
- マゴワ マゴデ ベチ。
- ミサオバワ マゴ。ミサオバダロアジャ?
- マニャ クニダカナ。
- ミサオバガ コ ワガ イノ トナリン
スッデ アロアジャ。
- ウメツジヒダノカミワ ショク オジャラナイ?
- ヘー?
- ウメツジ。
- ウメツジドノワ ショクナッキャ。ワガワ ショクナ
ケンカ マルボアダレ。
- ソリャ ワガ オトツツァンシャーガ。
- ソノ、ウメツジドノノ ハカワ ココニ アロガ、ウ
ノ、ワガ テテワ ノ、デテ ウメツジドノン ナロ
ワッティーガ、ミンナ。「コノヨワ ノチニ シャカ
シャン ヒックリケアーロヨンテ ミトケ」ーテ オ
ジャララッティーガ、ホントン ヒックリケアーロア
ダー。コネアーダ クニノ ヒトノ オジャッテ、サ
シンヨ トッテ モッテ オジャロアダラ。

それがその、近藤じいが三根で死んだそうだが、近藤じいの子だというのは三根の浜にいるよね。いたよね、まえには。

孫、あれは。

え？

あれは孫。

孫は孫で別。

ミサおばは孫。ミサおばだったろ？

いまはクニかな。

ミサおばの子・・・うちのとなりに住んでいたよね。

梅辻飛驒の守は知らないですか？

え？

梅辻。

梅辻どのは知らないよ。・・・知らない・・・死んだ・・・。

(105) wagawa これはwagaのいい間違いか。二重主格にとることはできない。

それはうちのお父さんなんか・・・。

その、梅辻どのは墓はここにあるけど、あの、うちのお父さんはね、行って梅辻どのに習ったそうだけど、みんな。「この世はのちに逆さにひっくり返るから見ておけ」とおっしゃったそうだが、ほんとうにひっくり返った・・・。このあいだクニの人がいらっしゃって、写真を撮ってもっていらっしゃったんだよ。

(かねだ あきひろ・千葉大学留学生センター助教授)